

Cisco Webex クラウドおよびハイブリッド サービス v3

最終更新日:2018 年 5 月 30 日

デモンストレーションについて

この **Cisco Webex** デモンストレーションの内容は次のとおりです。

- [要件](#)
- [このソリューションについて](#)
- [トポロジ](#)
- [セッション ユーザ](#)
- [はじめに Webex トライアル 事前設定](#)
- [シナリオ 1: Webex デスクフォン](#)
- [シナリオ 2: Webex ルーム デバイス](#)
- [シナリオ 3: Cisco Webex Teams モバイル アプリ](#)
- [シナリオ 4: ハイブリッド サービス: カレンダー サービス](#)
- [シナリオ 5: ハイブリッド サービス: コール サービス 認識およびコール サービス 接続](#)
- [シナリオ 6: Cisco Webex Teams クライアント機能](#)
- [シナリオ 7: Webex Board](#)
- [シナリオ 8: Webex 通話機能](#)
- [シナリオ 9: Cisco Care](#)
- [シナリオ 10: Pro Pack](#)
- [付録 A: Webex パスワードのリセット](#)
- [付録 B: AD FS 設定による SSO](#)
- [付録 C: スクリプト設定](#)
- [付録 D: ディレクトリ コネクタ](#)

要件

次の表に、本デモンストレーションに必要な要件の概要を示します。

表 1. 要件

必須	オプション
<ul style="list-style-type: none"> Apple iPhone、iPad、Android スマートフォンなどのモバイル デバイス Cisco AnyConnect VPN が導入されたラップトップと次のビデオ対応エンドポイント (デバイスを使用したデモンストレーションの場合): <ul style="list-style-type: none"> 1 台の Cisco DX/SX/MX/Webex Board (ルーム デバイス) 2 台の Cisco IP Phone 7800 または 8800 シリーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ルータ (Cisco dCloud 用に登録および設定済み) (Jabber を使用しない場合のオンプレミス デバイス用)

注: ワークステーションで Jabber を使用する代わりに、物理エンドポイントを Unified CM にオンプレミス デバイスとして登録するには、ルータを使用することをお勧めします。ルータは、Unified CM に接続して、Cisco Webex への登録をサポートするファームウェアにエンドポイントをアップグレードすることもできます。エンドポイントが正しいファームウェアを使用しており、Webex に登録されている場合、ルータは不要で、デバイスごとのインターネット接続のみが必要です。

このソリューションについて

Cisco Webex Teams の概要

Cisco Webex は、完結したコラボレーション スイートを提供するアプリケーション セン트リックなクラウドベースのサービスです。チームは同じ場所にも、離れていても、作成、会議、メッセージング、コール、ホワイトボードの利用、共有を行うことができます。これにより、会議前、会議中、会議後まで統合された継続的なワーク ストリームが実現します。Cisco Webex Teams は、チームのシームレスな連携を実現するために作られました。仕事の質を高める、シンプル、セキュア、かつオープンな、完結したサービスです。

コミュニケーションがあるべき姿は、アジャイル、モバイル、コラボレーティブ。これらすべては、モバイル デバイスや、インフラストラクチャとアプリケーションにおけるイノベーションの進化のおかげです。Cisco Webex サービスは、業界をリードするコミュニケーション ツールを緊密に統合して、瞬時のコミュニケーションとリアルタイムの会議を可能にし、これまでにないコラボレーション体験を実現します。こうしたメリットを提供できるのは、Cisco Cloud だけです。

図 1. Cisco Webex でよりよいコミュニケーションを実現



ミーティング。メッセージ。通話。

Cisco Webex Teams ソリューションの機能:

ミーティング: 会議前、会議中、会議後までの統合された継続的なワーク ストリームで、作成、コミュニケーション、コラボレーションを行うことで、チームの効率はさらに高まります。これらの作業を任意のモバイル デバイスやビデオ デバイスで行うことができます。デスク、ランチ オフィス、自宅、または外出先の参加者を招待できます。

メッセージング:他のユーザやグループとメッセージを交換し、ファイルを共有する機能。誰にでもメッセージを送れます。社員名簿から送信先を選ぶか、電子メール アドレスをそのまま入力して、顧客、パートナー、および協力する必要のある人へのメッセージングを開始しましょう。

通話:Cisco Webex Teams にはクラウドベースの電話システムが含まれています(北米のみ)。Cisco Webex Teams では、SIP ダイヤリングであらゆる会社のあらゆる Cisco Webex Teams ユーザに通話発信できるほか、PSTN 経由で通常の固定電話や携帯電話への一般通話も可能です。オフィスの Cisco Webex サービスに接続された電話や、携帯電話またはデスクトップの Cisco Webex Teams アプリから、発着信が可能です。

ビジネスの進め方を考慮した設計

Cisco Webex Teams サービスは、コミュニケーションが必要となるすべての場面に強力なサービス セットを提供します。たとえば、アドホックなソリューションで新規に事業を立ち上げた場合、または旧式のキー システムや PBX をアップグレードしたい場合を考えてみましょう。

あるいは、IP テレフォニーへの移行やクラウドベースのサービスの導入はすでに行っており、さらに機能を拡張したいと望んでいるとしましょう。Cisco Webex は、社員全員に 1 つの完結したビジネス コラボレーション サービスのメリットを提供することで、現在のコミュニケーションを次のレベルに引き上げます。統合されたサービスとエクスペリエンスを全社員が利用できます。

図 2. 統合されたサービスとエクスペリエンスをすべての従業員に提供



創造性を発揮してアイデアを創出:

- チームと同じ場所にも、離れていても、あらゆるデバイスから Cisco Webex Teams のホワイトボード機能を使用できます。
- 会議室では、Cisco Webex Board が、プレゼンテーション画面、デジタル ホワイトボード、Cisco Webex サービスに接続されたビデオ会議システムとして機能します。
- 会議スペースやチーム スペースを問わずに、誰でも会議に参加して、創造的なプロセスを推進することができます。

プロジェクトの開始から完了まで、チームの俊敏性を向上させ、迅速な対応を実現:

- 情報共有、議論、事前準備の段階で、より効率的な会議を開催できます。
- 会議中にコンテンツやディスカッション スレッドにアクセスできます。
- 会議後に、確認やフォローアップを行い、通知されたアクションを迅速に実行できます。

ビジネスの成長と成功を加速:

- IT リソースを集中化して、コスト センターからイノベーションと成長のためのプラットフォームへと転換できます。
- 場所を問わないスマートな働き方を実現して、従業員とつながることで、企業文化を改善します。
- より迅速かつスマートに働き、コストを管理してリソースを最大化することで、ビジネス ニーズに対応できます。

Cisco Webex Hybrid Services

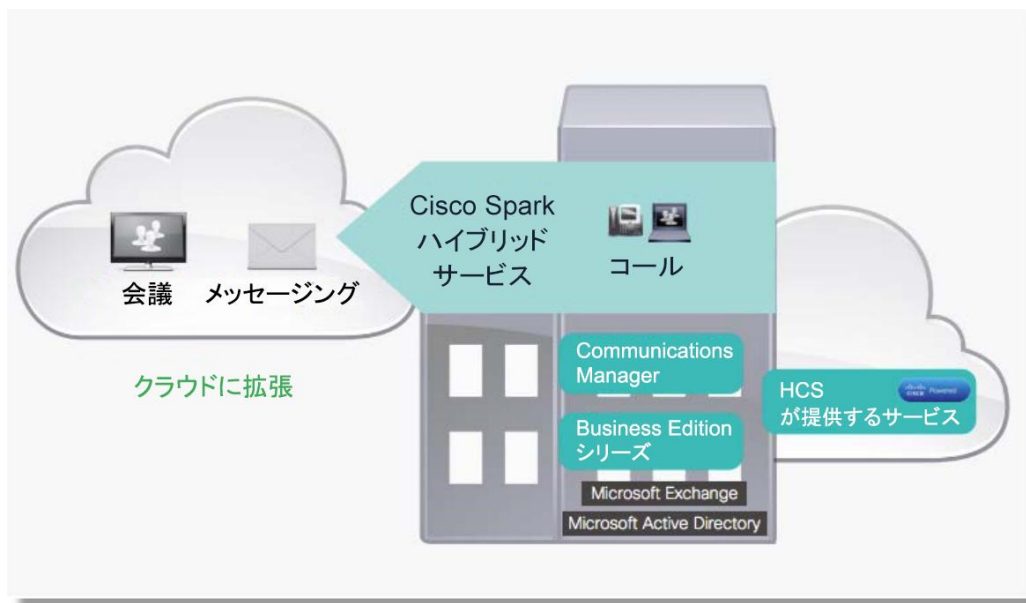
働き方は変化しています。社員同士の共同作業の必要性が高まり、自社内だけでなく、世界中の社内外の人と働くようになってきました。競合他社の一歩先を行くために生産性の向上が求められ、モバイルの活用も増えています。成功を勝ち取るために重要なのがコラボレーション ツールですが、取り扱いが難しく、管理にコストがかかる場合もあります。

多くの企業にとって、クラウドを導入してユニファイド コミュニケーション サービスを提供することは、シンプルで効果的であるばかりでなく、IT リソースを解放し、コア ビジネスにフォーカスできることにもつながります。Cisco Webex は、完結したコラボレーション スイートを提供するアプリケーション セントリックなクラウドベースのサービスです。チームは同じ場所にも、離れていても、作成、会議、メッセージング、通話、ホワイトボードの利用、共有を行うことができます。これを、会議前、会議中、会議後まで統合された継続的なワーク ストリームの中で実現できます。Cisco Webex は仕事の質を高める、シンプルでセキュアな完結したオープン スペースです。Cisco Webex Teams のコア機能は、会議、メッセージング、そして通話です。インフラストラクチャに投資することなく、少額の月額使用料でユニファイド コミュニケーション サービスを利用でき、また、企業の成長に応じて簡単に拡張できるため、非常に優れた選択肢となります。

多くの企業では、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Business Edition 6000 および 7000、IP テレフォニー用の Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS)、インスタント メッセージ、プレゼンス、モバイル通話用の Cisco Jabber® などのシスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションにすでに投資しています。これらの企業は、投資の回収を継続して確保することを求めています。このようなお客様にとっては、「Cisco Webex Teams のファイル共有やデジタル ホワイトボード機能といったクラウドベースの会議サービスやメッセージング サービスを導入しながら、最終ソリューションでは統合された単一のユーザ エクスペリエンスを従業員に確実に提供できるようにするには、どうしたらいいのだろう」ということが問題になります。

Cisco Webex Hybrid Services は、多様なオンプレミス資産をクラウドの Cisco Webex につなげることで、これを実現します。こうしたオンプレミスの資産には、上記の Cisco Call Control ソリューションや、Microsoft Exchange、Active Directory などが含まれます。

図 3. Webex ハイブリッド サービス



Cisco Webex ハイブリッド サービスによって、Cisco Webex Teams のミーティングとメッセージング機能を既存の Cisco Unified Communications 環境に簡単に追加できます。次のサービスが現在利用可能です。

コール サービス: コール サービスは、Cisco Call Control を Cisco Webex クラウドと統合し、統一された単一のユーザ エクスペリエンスを実現します。コール サービスには主に次の 2 つの機能があります。

1. **コール サービス認識:** 既存のユニファイドコミュニケーション システム全体のすべての通話を Cisco Webex Teams で認識し、さまざまな機能を活用できるようになります。特に便利なのが、ゼロタッチ ミーティングです。この機能によって、Cisco Webex Teams で通話中の 2 人のユーザが自分のデスクトップをすぐに共有できます。新たなミーティングの設定をする必要はありません。通話が確立したら、2 人の中の 1 対 1 の Cisco Webex Teams Message ルームが、アプリケーション内のルーム リストの一番上に移動します。1 対 1 のルームができていない場合、Cisco Webex Teams がその場で新たに作成します。いずれの方法でも、通話が確立したら、2 人のユーザは単にボタンをクリックするだけでデスクトップを共有できます。コール サービス認識を利用すれば、使用したどのデバイスからの通話履歴も Cisco Webex Teams で表示することができます。統一された同じエクスペリエンスを実現します。
2. **コール サービス接続:** Cisco Webex Teams と Cisco Unified Communications Manager が連携して機能するように両者を接続します。このサービスの一部として Cisco Webex Teams は音声およびビデオ通話のモバイル ソフト クライアントとして使用され、シスコ デスク フォンと内線番号を共有します。デスク フォンでも、Cisco Webex Teams アプリのどちらでも通話に応答することができます。アプリを使用することで、オフィスにいるときと同じように通話の受発信ができます。一番のメリットは、自分や相手が、Cisco Webex Teams、Cisco Jabber、デスク フォンのいずれを使用しているかを気にせずに、どのデバイスでも通話できることです。なお、コール サービス接続にはコール サービス認識が必要となります。

ハイブリッド メディア サービス: お客様の社内にある Cisco Webex Teams ミーティング機能にメディア処理用のローカル インスタンスを提供します。これにより、遅延が縮小してユーザ エクスペリエンスが向上するとともに、インターネットの帯域幅要件とコストも削減できます。

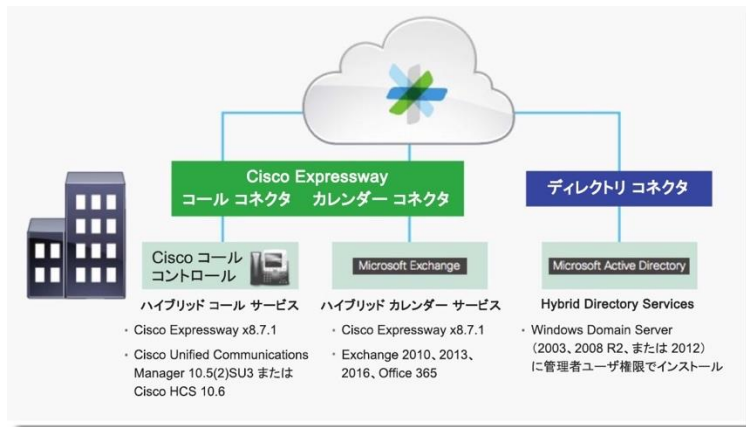
ディレクトリ サービス: Active Directory を Cisco Webex Teams メッセージと Cisco Webex Teams ミーティングに接続します。これにより、ユーザは社内の連絡先を参照したり、Cisco Webex Teams スペースに追加してクリックすることによって、通話やメッセージの送信を行えます。また、シンプルな管理プロセスも用意されており、組織全体のディレクトリの連絡先を、自動的かつ安全にクラウドに拡張し、同期を維持することができます。

カレンダー サービス: このハイブリッド サービスによって、Microsoft Exchange 2010、2013、2016、Office 365 (ハイブリッド Exchange 環境を含む) が Cisco Webex Teams に接続され、ミーティングのスケジュールやミーティングへの参加が簡単にできます。特にモバイルの場合に便利です。ユーザは次のことができます。

3. 「@Spark」を Outlook の会議招待メールに追加することで、自動的に Cisco Webex Teams Space が作成され、そのスペースで会議のすべての招待者が、会議前、会議中、会議後に情報やドキュメントを共有できるようになります。
4. 「@WebEx」を Outlook の会議招待メールに追加すれば、ホストの Cisco WebEx® パーソナル ルームを自動的に共有できるようになり、招待状に会議への参加情報を含めることができます。

これらのハイブリッド サービスはそれぞれ異なる統合の役割を果たすため、ユーザは必要なサービスを使用できます。すべて実装する必要はありません。さらに、ディレクトリ サービスとカレンダー サービスは、Cisco Call Control と依存関係がないため、ユーザがサードパーティのユニファイドコミュニケーション ソリューションを使用している場合でも、ネットワーク サービスを Cisco Webex Teams ユーザに拡張して使用することができます。

図 4. Cisco Collaboration Cloud へのシンプルな接続



トポロジ

このデモンストレーションでは、サーバとして仮想マシンを数台使用します。ほとんどのサーバは、管理者レベルのアカウントを使うことで自由に設定できます。管理者アカウントの詳細については、関連する手順およびサーバ詳細表で説明しています。

図 5. トポロジ概要

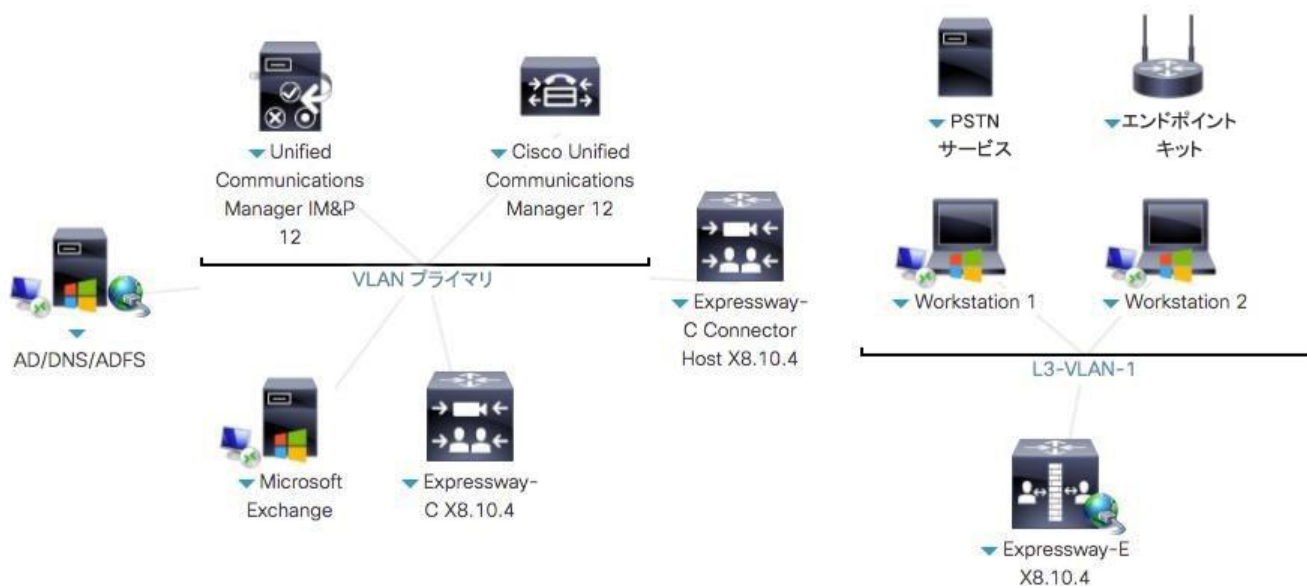


表 2. サーバの詳細

名前	説明	ホスト名 (FQDN)	IP アドレス	ユーザ名	パスワード
CUCM	Cisco Unified Communications Manager 12.0	cucm1.dcloud.cisco.com	198.18.133.3	administrator	dCloud123!
IM & P	IM & Presence 12.0	cup1.dcloud.cisco.com	198.18.133.4	administrator	dCloud123!
Exp-C	Expressway-C (Core) X8.10.4	vcsc.dcloud.cisco.com	198.18.133.152	admin	dCloud123!
Exp-E	Expressway-E (Edge) X8.10.4	vcse.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com	パブリック IP	admin	dCloud123!
Exp-Base	Expressway-C Connector Host X8.10.4	exp-cc.dcloud.cisco.com	198.18.133.223	admin	dCloud123!
AD1	Active Directory, DNS, AD FS	ad1.dcloud.cisco.com	198.18.133.1	administrator	C1sco12345
Exchange	Microsoft Exchange 2016	mail1.dcloud.cisco.com	198.18.133.2	administrator	C1sco12345
Workstation 1	Windows 10	wkst1.dcloud.cisco.com	198.18.1.36	cholland	C1sco12345
Workstation 2	Windows 10	wkst2.dcloud.cisco.com	198.18.1.37	aperez	C1sco12345

セッション ユーザ

表 3. ユーザ情報

ユーザ名	ユーザ ID	Windows パスワード	Webex パスワード	クラウドの電話 DN	オンプレミスの電話 DN	ユーザタイプ	エンドポイント デバイス
Charles Holland	cholland	C1sco12345	dCloud123!	N/A	+1 972 555 6018	ハイブリッド	Cisco Jabber
Anita Perez	aperez	C1sco12345	dCloud123!	N/A	+1 972 555 6017	ハイブリッド	Cisco Jabber
Kellie Melby	kmelby	C1sco12345	dCloud123!	5050	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Taylor Bard	tbard	C1sco12345	dCloud123!	5026	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Eric Steele	esteele	C1sco12345	dCloud123!	5099	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Rebekah Barretta	rbarretta	C1sco12345	dCloud123!	5088	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Ricardo Filice	rfilice	C1sco12345	dCloud123!	5083	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Stefan Mauk	smauk	C1sco12345	dCloud123!	5072	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Neil Branner	nbranner	C1sco12345	dCloud123!	5011	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Monica Cheng	mcheng	C1sco12345	dCloud123!	5020	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ
Lucy Abbot	labbot	C1sco12345	dCloud123!	5006	N/A	クラウド	Cisco 7800 または 8800 シリーズ

はじめに

デモンストレーションの前に

実際の対象者の前でプレゼンテーションを行う前に、このプロセスを少なくとも 1 回は実施しておくことを強く推奨します。そうすることで、ドキュメントとデモンストレーションの構成に慣れることができます。

お客様向けプレゼンテーションを成功させるためには、入念な準備が不可欠です。

次の手順に従ってデモンストレーションのスケジュールを組み、デモンストレーション環境を設定します。

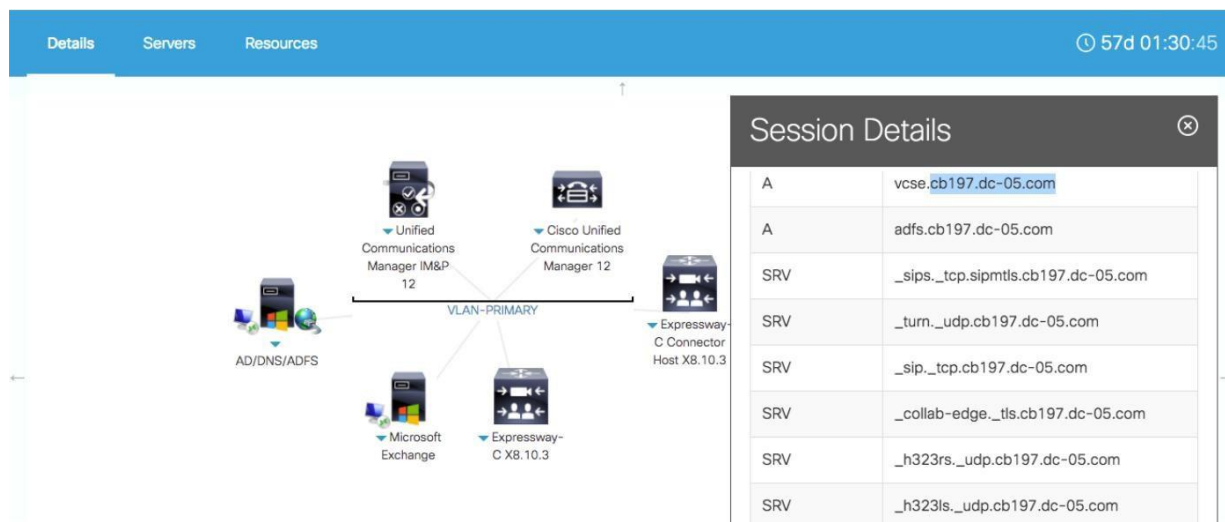
1. dCloud セッションを開始します。[\[手順を見る\]](#)

注:セッションがアクティブになるまで最長で 45 分かかることがあります。ただし、セッションを使用する前に、[Webex のデモのセットアップが完了しました (THE Webex DEMO SETUP IS COMPLETE)] という件名の電子メールが Charles Holland の電子メール アカウントにあることを確認します。これによりすべてのクラウド サービスのセットアップ スクリプトが実行済みであることが確認できます。

2. [表示 (View)] をクリックして、アクティブ セッションを開きます。
3. **ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、dCloud ユーザ インターフェイスで表示される AnyConnect クレデンシャルを使用して、アクセスします。[\[手順を見る\]](#)
4. ルータとラップトップを接続します。[\[手順を見る\]](#)
5. ルータ経由でデモンストレーションに接続する場合は、次の手順に進んでください。スタンドアロンのラップトップまたは他のデバイスから直接セッションに接続する場合は、**ラップトップに Cisco AnyConnect** をインストールし、Cisco dCloud ユーザ インターフェイスで AnyConnect のクレデンシャルを使ってアクセスします。[\[手順を見る\]](#)

- **推奨方法:** Cisco AnyConnect [[手順を見る](#)] およびラップトップのローカル RDP クライアントを使用します。
 - **Windows ユーザ:** 各仮想マシンに接続を保存する場合、いずれかのバージョンの Remote Desktop Manager を使用することをお勧めします。マネージャの例としては、Microsoft の Remote Desktop Connection Manager (<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=44989>) [英語] があります。
 - **Mac ユーザ:** 仮想マシンに接続するには、Microsoft Remote Desktop (MRD) [] または CoRD [] アプリケーションを使用することをお勧めします。MRD は、Mac App Store から無料でダウンロードできます。CoRD は <http://cord.sourceforge.net/> [英語] から無料でダウンロードできます。どちらかのアプリケーションを使用することで、仮想マシンの接続を保存できます。
6. デモンストレーションでは、Phone OS v11.0.1 以降がインストールされた 7800/8800 電話が必要です。講師がいる場合は、講師が適切なファームウェアを電話にインストールしているはずですが、<http://upgrade.cisco.com/> [英語] を使用するとアップグレード プロセスに役立ちます。
 7. ルーム デバイスでも vCE8.1 以降のファームウェアが必要になります。ルーム デバイスを更新する必要がある場合は、cisco.com から .pkg ファイルをダウンロードして、デバイスを直接アップグレードできます。<http://upgrade.cisco.com/> [英語] を使用するとアップグレード プロセスに役立ちます。
 8. デバイスに正しいファームウェアが適用されていることを確認したら、開始する前に、各デバイスで初期設定へのリセットを実行します。
 9. 最良の結果を得るために、Web ブラウザには Firefox または Chrome を使用してください。
 10. 今回の Cisco Webex Hybrid Services のデモンストレーションでは、Cisco Jabber を使用します。また、dCloud ルータを追加し、任意の物理電話でセルフプロビジョニングを実行することで、ハイブリッド サービスのデモンストレーションを行うこともできます。
 11. 各ユーザのパスワードは、**dCloud123!** に設定されます。それには起動時のデモ スクリプトを使用します。ユーザに電子メールが送信されない問題が発生する可能性があります。この場合、ユーザは自身のパスワードを手動でリセットする必要があります。これは、「[付録 A](#)」に示されています。Webex の基本認証を使用しない場合は、必要に応じてシングル サインオン (SSO) を設定することもできます。SSO を有効にする手順については、「[付録 B](#)」を参照してください。
 12. このデモンストレーションを実行するには、dCloud のセッション ページにある、「セッションの詳細 (Session Details)」タブの Collaboration Edge ドメイン情報が必要になります。各クライアントは固有のドメインを使用します。次の図は 1 つの例を示しています。実際のセッションで図の情報は使用しないでください。この情報をガイド全体で参照できるようにメモしておきます。dCloud では、「collabedge-XXX.dc-YY.com」または「cbXXX.dc-YY.com」の 2 つのドメイン形式を使用できます。

図 6. [セッションの詳細 (Session Details)] タブの例 (ドメイン)

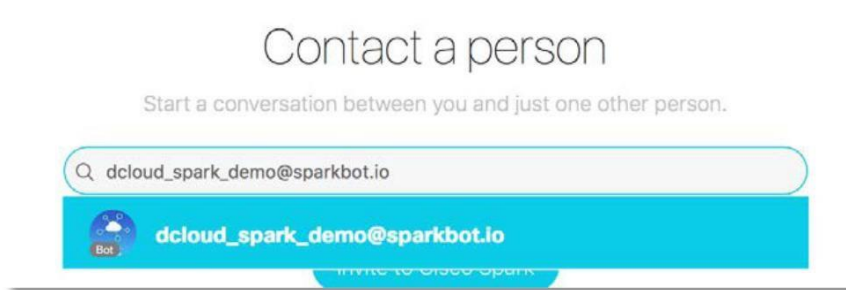


The screenshot shows the dCloud interface with a network diagram on the left and a 'Session Details' table on the right. The network diagram includes components like AD/DNS/ADFS, Microsoft Exchange, Expressway-C X8.10.3, and Cisco Unified Communications Manager IM&P 12. The Session Details table lists various service records (SRV) for a specific session.

Service	Record Name
A	vcse.cb197.dc-05.com
A	adfs.cb197.dc-05.com
SRV	_sips_tcp.sipmtls.cb197.dc-05.com
SRV	_turn_udp.cb197.dc-05.com
SRV	_sip_tcp.cb197.dc-05.com
SRV	_collab-edge_tls.cb197.dc-05.com
SRV	_h323rs_udp.cb197.dc-05.com
SRV	_h323ls_udp.cb197.dc-05.com

13. **dCloud Webex デモ ボット**: デバイスをより迅速かつ簡単に登録できるように、このデモには dCloud Webex デモ ボットが付属しています。/devices コマンドを使用すると、このボットでは、Kellie と Taylor の 7800/8800 エンドポイント用のデバイス コードが作成され、2 つのルーム デバイス用のコードが作成されます。ルーム デバイス専用のコードを作成することもできます。デバイスを手早く登録するには、次の手順を実行します。

- 前の手順に示すように、セッションに割り当てられているドメインを取得します。
- dcloud_wt@webex.bot を検索して、dCloud Webex デモ ボットとの 1 対 1 のスペースを開始します。



- スペースの作成後にメッセージを送信すると、手順を示したウェルカム メッセージが届きます。
- デバイス コードを作成する前に、「デモンストレーションの事前設定」の項に示すように、「Webex のデモのセットアップが完了しました (THE Webex DEMO SETUP IS COMPLETE)」という電子メールが Charles Holland のメールボックスに届いていることを確認します。
- 2 つの 7800/8800 と 2 つのルーム デバイスのためのデバイス コードを作成するには、/devices domain と入力します。ここで domain は、前の手順で取得したドメインです。

```
/devices cbXXX.dc-YY.com
```

注: /devices コマンドが作成するルーム デバイスは、OBTP なしで設定されます。ルーム デバイスで OBTP を使用する場合は、ルーム デバイス コードを別途作成するために、以下の /obtp コマンドを使用します。


- 生成されたコードを使用してデバイスを登録します。
- ルーム デバイスのコードを生成する場合には、/rd domain,rd name と入力します。

```
/rd cbXXX.dc-YY.com,dCloud Boardroom
```

- OBTP のルーム デバイスのコードを生成する場合には、/obtp domain,alias,rd_name と入力します (下記の注を参照)。

```
/obtp cbXXX.dc-YY.com,sparkrd,RD with OBTP Name
```

注: 上記のコマンドのエイリアス部分は、電子メール アドレスの @ 記号より前の部分を表しています。デフォルトでは、Exchange に事前に作成されている 5 つのルーム リソースがあります。それらのエイリアスは、webexrd、webexrd2、webexrd3、webexrd4、および webexrd5 です。各ルーム デバイスには、それぞれに固有の Exchange ルーム リソースが割り当てられていなければなりません。ボットを使用してルーム デバイスを作成する場合は、各エイリアスを必ず一度使用してください。OBTP のルーム デバイスが 6 つを以上必要な場合は、以下の手順を使用して、追加のルーム デバイスごとに Exchange 上に新たなルーム リソースを作成します。このコマンドはハイブリッド デバイスをサポートしません。ハイブリッド デバイスと OBTP の設定方法については、[次の箇条書き](#)を参照してください。

1. 資格情報として dcloud\administrator と C1sco12345 を使用して、Exchange サーバ(198.18.133.2)へのリモート接続を作成します。
2. タスクバーにあるアイコン [] をクリックして、**Exchange 管理シェル**を開きます。
3. **[PS]** プロンプトで、次のコマンドを入力します。ドメインは必ずセッションで割り当てられたもので更新し、**New Room/newroom** は選択したものに置き換えてください。

New-Mailbox -Name 'New Room' -Alias 'newroom' -room

4. 新しいルーム リソースを作成したら、ボットを使用して、関連するルーム デバイスを新しいエイリアスで作成します。
 - ハイブリッド ルーム デバイスのコードを生成したい場合は、次のように入力してください。**/hybrid domain,rd_name** (以下の注を参照)

`/hybrid cbXXX.dc-YY.com,Hybrid Room Device Name`

注: このデモは、1つのハイブリッド デバイスのみをサポートします。ハイブリッド デバイスの別のコードを作成する場合は、その前に制御ハブに移動して、既存のハイブリッド デバイスを削除する**必要があります**。

finish_hybrid_setup.bat スクリプトは、ハイブリッド デバイス コードを生成する前に実行して完成させておく**必要があります**。事前構成の手順を、[ここで](#)参照してください。

さらに、このコマンドは、ルーム デバイス用の OBTP も設定します。

14. 2人のハイブリッド ユーザ Charles と Anita がおり、1つのハイブリッド デバイスに、実 PSTN を介したダイヤルイン/アウトのために2人に割り当てられた、1つの外部 DID があります。これらのハイブリッド ユーザおよびハイブリッド デバイスのみが PSTN 番号をダイヤルし、外部からの通話を受け取ることができます。セッションの詳細に DID 番号がリストされています。番号にはそれぞれ名前が付いています。現在のところ、dCloud からのダイヤルアウトでは、ローカル通話と国際通話のみを利用できます。発信ダイヤルルールとパターンについては、この[ページ](#)を参照してください。

図 7. [セッションの詳細 (Session Details)] タブの例 (DID)

The screenshot displays the Cisco dCloud interface. At the top, there are tabs for 'Details', 'Servers', and 'Resources'. A clock icon shows the time as '20d 01:31:10'. The main area is divided into two sections:

Network Diagram: A central hub labeled 'VLAN-PRIMARY' is connected to several components:

- Unified Communications Manager IM&P 12
- Cisco Unified Communications Manager 12
- AD/DNS/ADFS
- Microsoft Exchange
- Expressway-C X8.10.4
- Expressway C Connector Host X8.10.4


Session Details Table: A table with three columns and eight rows, listing session information.

Session ID	Port	User/Device
919-47 45910	7800	Hybrid Device
919-47 45914	6020	
919-47 45911	6021	
919-47 45918	6018	Charles Holland
919-47 45919	6019	
919-47 45916	6016	
919-47 45917	6017	Anita Perez
919-47 45915	7019	

デモンストレーションの事前設定

このコンテンツですべてのハイブリッド機能を使用する前に、いくつかの最終的な設定が必要です。ほとんどの設定はセッションの開始時に自動的に実行されています。ただし、実行すべきいくつかの最終的な設定手順があります。そのすべては実行するスクリプトによって行われます。

デモへの最初の接続

1. まだ接続していない場合は、Cisco AnyConnect を使用して、セッションに VPN 接続します。ログイン クレデンシャルは、dCloud セッションの Web ページ内の [セッションの詳細(Session Details)] タブで提供されます。
2. Workstation 1 (198.18.1.36) へのリモート デスクトップ接続を行い、ユーザ名: **dcloud\cholland**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。
3. タスクバーのアイコン [] をクリックして **Microsoft Outlook** を開きます。
4. プロファイル名として **Charles** と入力し、[OK] をクリックします。
5. 自動セットアップにより、受信箱に数件の電子メールが届いているはずです。続行する前に、[Webex のデモのセットアップが完了しました (THE WEBEX DEMO SETUP IS COMPLETE)] という件名の電子メールがあることを確認します。これにより Webex サービスのすべてのセットアップ スクリプトが完了したことになります。
6. その他の電子メールは現時点では無視して Outlook を最小化します。

ハイブリッド サービスの設定

次のセクションでは、ハイブリッド サービスの設定を完了するための最終スクリプトを実行します。これには、コネクタ ホスト上での WebEx サイトとハイブリッド コール サービスの設定が含まれます。スクリプトを実行し、コマンドライン ウィンドウが閉じるまで実行しておくだけで済みます。スクリプトを開始したら、スクリプトが終了するまでワークステーションを使用しないでください。スクリプトの実行中にワークステーションを使用すると、設定が完了しなくなる可能性があります。

注: WebEx サイトの初期セットアップは、完了するまで 30 ~ 60 分かかることがあります。サイトの準備が整うまで、このスクリプトは実行されません。それまでは、@webex は機能しません。@spark 機能は、デモ アクティベーションにより動作しているはずです。これらの機能を使用する前に、制御ハブでユーザ ハイブリッド サービスのアクティベーションを確認します。

1. Workstation 1 で、Outlook を最小化して、デスクトップの **Webex** フォルダを開きます。
2. **finish_hybrid_setup.bat** ファイルをダブルクリックして実行します。

このスクリプトにより、ハイブリッド サービスの設定が完了します。実行を開始したら、スクリプトが完全に終了するまで、ワークステーションは使用しないでください。

注: ハイブリッド コール サービスは、Charles と Anita のためにアクティブになるまで数分かかります。コール サービスの認識と接続をデモンストレーションする前に、制御ハブでコール サービスが Charles と Anita に対して [有効 (Activated)] と表示されていることを必ず確認してください。

これで、デモンストレーションの設定は完了です。

シナリオ 1: Cisco Webex デスクフォン

このシナリオでは、dCloud Realty のシステム管理者の Charles Holland があるユーザの Cisco Webex デスクフォンを設定し、別のユーザが自分の Cisco Webex デスクフォンを設定します。dCloud Realty は Cisco Webex のトライアル インストールを実行しており、Charles はインフラストラクチャを設定するリード エンジニアです。現在、彼はエンド ユーザのトライアルを開始しようとしています。

注: デバイス コードを手早く生成するには、「はじめに」の項で説明したように、dCloud Webex デモ ボットを使用します。ボットを使用すると、シナリオ 1 および 2 のデバイス コードの手動生成手順をスキップできます。

次のユーザについては、すでに Webex メッセージ、会議、および通話が設定されています。

Taylor Bard: Webex ミーティング、通話、メッセージ

Kellie Melby: Webex ミーティング、通話、メッセージ


Rebekah Barretta: Webex ミーティング、通話、メッセージ

Ricardo Filice: Webex ミーティング、通話、メッセージ

Stefan Mauk: Webex ミーティング、通話、メッセージ

Eric Steele: Webex ミーティング、通話、メッセージ

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>Kellie Melby 用の Webex クラウド登録電話の設定</p> <p>最初の手順として、ユーザのアクティベーション コードの生成を行います。</p> <p>Kellie のアカウントを開き、アクティベーション コードを生成します。自分のスマートフォンを使用し、ポップアップ ウィンドウに表示されている QR コードの写真を撮ります。</p> <p>次にこのコードを Cisco IP Phone 7800/8800 のカメラに認識させ、コードを登録します。繰り返しになりますが、これが複雑なタスクを簡単にすばやく実行できる方法です。カメラが搭載されていないタイプの電話機の場合は、ポップアップに表示された 16 桁のコードを入力できます。</p> <p>Kellie はさらに、シスコの自動アテンダントプロセスについてときどき質問して回答を得ます。Kellie はスピードダイヤルが、すでにセットアップされている自動案内に直接ダイヤルするように作成されることを要求しました。</p> <p>新しいボタンを追加しているときに、ボタンを並べ替えるオプションが表示されます。「ハントグループ」ボタンを 6 番目のボタンに移動させ、3 番目のボタンをこの新しいスピードダイヤルに置き換えます。</p> <p>追加/並べ替え後:</p> <p>電話が更新されてボタンが整い、すぐにそれを使用できます。</p> <p>注: 6 つのボタンすべてを同時に表示するには、キー拡張モジュールが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のコンピュータの Web ブラウザ (Firefox または Chrome) で https://admin.webex.com にアクセスします 必要に応じて、cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com として、パスワード dCloud123! でサインインします。 [ユーザ (Users)] タブをクリックします。 ユーザ リストから [Kellie Melby] を選択します。 ポップアップ ウィンドウで、[アクティベーションコードの生成 (Generate Activation Code)] をクリックします。dCloud ポットを使用してデバイスを登録した場合は、手動での登録はスキップします。 QR コードが表示されたウィンドウが開きます。電話機にカメラが搭載されている場合は、このコードを 7800/8800 電話機のカメラに認識させ、コードを登録します。最も簡単な方法は、スマートフォンでコードの写真を撮影し、その QR コードをシスコ電話機に認識させる方法です。 <p>注: 電話機にカメラが搭載されていない場合は、[手動で入力 (Enter Manually)] ボタンを押して 16 桁のコードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数秒で、その電話機が Webex Cloud に登録されます。7800/8800 電話機では、最新バージョンのソフトウェアへのアップグレードが自動的に行われます。アップグレードは延期しないでください。 電話機が登録されたら、QR コード ウィンドウの  をクリックします。 スピードダイヤルを設定するには、[通話 (Call)] > [電話のボタンのレイアウトおよびスピードダイヤル (Phone Button Layout & Speed Dials)] をクリックします。 省略記号をクリックし、[ボタンの追加 (Add Button)] を選択します。 連絡先名: 自動応答 (Auto Attendant)、番号形式: カスタム (Custom)、番号: 5333 [保存 (Save)] をクリックします。 省略記号ボタンをクリックし、[並べ替え (Reorder)] を選択します。 ハントグループ ボタンを 6 番目のスロットに移動させ、新しいスピードダイヤルを 3 番目のスロットに移動させて、[保存 (Save)] をクリックします。 電話が更新され、スピードダイヤルがテストされるのを待ちます。

手順	説明の要点	操作
2	<p>エンド ユーザ セルフケア ポータルで Taylor Bard の電話を登録</p> <p>Kellie の電話機のプロビジョニングがうまくいったので、次に Taylor Bard がセルフケア ポータルを使用してこのタスクを実施できるかどうかを確認します。</p> <p>私は事前に Taylor にメッセージを送信し、システムで Taylor のログイン準備が整ったらメールが送信されることを伝えています。</p> <p>Taylor Bard のトーク:</p> <p>こんにちは、dCloud Realty のプロジェクト マネージ、Taylor Bard です。Cisco Webex は、プロジェクト コミュニケーションやファイルの管理に優れたツールだと聞いていたので、早く自分の目で確かめたかったです。</p> <p>Charles が私のアカウントを設定してくれたので、Cisco Webex のログインとサービス設定の準備が整ったことを通知する電子メールが送信されてきました。</p>	<p>注: 標準の導入では、QR コード画面で [電子メール (Email)] ボタンをクリックします。ただし、Webex 通話が有効になっているユーザの場合は、そのまま Webex からユーザに電子メールが送信されます。この手順は、電子メールが直接送信されていることを前提にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログイン情報がキャッシュされているため、別の Web ブラウザを開くか、新しいタブをプライベート/匿名モードで開いて、https://settings.webex.com/ [英語] に移動します。 電子メール アドレスとして「tbard@collabedge- または cb XXX.dc-YY.com」と入力し、[次へ (Next)] をクリックします。 パスワード dCloud123! を入力します。

手順	説明の要点	操作
3	<p>Taylor Bard のトーク:</p> <p>ログインしたので、自分の電話機を有効化できます。</p> <p>[個人設定(Personalize Settings)] セクションに移動し、[自分のデバイス(My Devices)] タブをクリックしてアクティベーション コードを生成します。これで QR コードが生成されるので、自分の電話機に認識させ、自動登録することができます。</p> <p>自分のスマートフォンの QR コードの画像を自分の電話機に認識させるとすぐに登録プロセスが始まります。とても簡単です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> サービス利用条件に同意し、[個人設定 (Personalize Settings)] ボタンをクリックして、Taylor の Webex 通話を設定します (dCloud ポットを使用してデバイスを登録した場合は、手動での登録はスキップします)。 [自分のデバイス (My Devices)] をクリックし、[アクティベーションコードの生成 (Generate Activation Code)] をクリックします。 スマートフォンで QR コードの写真を撮影して他のシスコ電話機に認識させるか、16 桁のコードを入力します。QR コードと 16 桁のコードが添付された電子メールが Taylor の受信箱にすでに存在していることに注意してください。この電子メールは、ユーザの Webex 通話を有効にすると自動的に送信されます。 <p>QR コードを Cisco 7800/8800 に認識させるか、コードを入力してから数秒で、その電話機が Webex クラウド に登録されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話機を登録してもポータル ページが更新されず、電話機が表示されない場合があります。更新されない場合は、ブラウザで https://settings.webex.com/ [英語] に戻り、[個人設定 (Personalize Settings)] をクリック後、[自分のデバイス (My Devices)] をクリックします。電話機が [オンライン (Online)] としてページに表示されます。 セルフケア ポータル ページを開いたままにします。

手順	説明の要点	操作
4	<p>これで自分の電話機が登録されたので、電話機の設定、スピードダイヤルなどのオプションをカスタマイズできます。</p> <p>最初に、Kellie や日常的に一緒に仕事する人へのスピードダイヤルを設定します。</p> <p>[応答不可 (Do Not Disturb)], [通話転送 (Call Forward)], [シングル ナンバー リーチ (Single Number Reach)], [自動応答 (Auto Answer)] の各オプションを追加で設定できることがわかります。</p> <p>プライマリ回線での表示名を変更するオプションもあるように見えます。手順を進めて、それを変更してみます。</p> <p>ボイスメールが有効になっていることがわかります。このセルフケア ポータルでは、PIN を簡単に設定できます。その設定後に必要な操作は、ボイスメール ボタンを押してログインすることだけです。ボイスメール システムにログインしたら、音声ガイダンスに従ってボイスメールを設定できます。</p> <p>ボイスメール ボックスにワンタイム暗証番号を使用できる Webex Teams スペースがあることにも気づきました。暗証番号を変更したら、変更の通知を受け取りました。すごい。</p> <p>Kelly から着信しているようですが、会議の時間が迫っているのでボイスメールに転送する必要があります。</p> <p>これで Cisco Webex 通話の設定プロセスが完了です。簡単なプロセスで、すぐに完了できました。Charles には好意的な感想を伝えるつもりです。</p> <div style="background-color: #e1f5fe; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>価値提案:</p> <p>Cisco Webex では、エンドユーザが自分のエンドポイントやコラボレーション サービスを簡単に設定できます。数分ですべての設定は完了し使用可能になります。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> [通話設定 (Call Settings)] タブをクリックし、[スピードダイヤルの追加 (Add Speed Dial)] をクリックします。 [連絡先 (Contact Name)] に Kellie と入力し、[番号タイプ (Number Type)] に [カスタム (Custom)] を選択します。 [電話番号 (Phone Number)] に Kellie の内線番号 (5050) を入力し、チェックマーク ボタンをクリックして保存します。Taylor の電話機が更新され、ボタン 5 に Kellie のスピードダイヤルが設定されます。スピードダイヤルを使用して Kellie に電話をかけ、通話を終了します。 [通話設定 (Call Settings)] ページで、[シングル ナンバー リーチ (Single Number Reach)] に番号を設定できます。また、[応答不可 (Do Not Disturb)], [通話転送 (Call Forward)], および [自動応答 (Auto Answer)] も設定できます。 Taylor Bard の横のアイコン [] をクリックして、回線名を変更します。 [応答不可 (Do Not Disturb)] のトグルをクリックして、応答不可がすぐにオンになることを確認します。応答不可は、画面上部に赤いバナーで示されます。[応答不可 (Do Not Disturb)] をオフにします。 [自分のプロフィール (My Profile)] タブ、[] ボタンの順にクリックし、[ボイスメールの PIN のリセット (Reset Voicemail PIN)] を選択します。 [新しい PIN (New)] と [ボイスメールの PIN の確認 (Confirm Voicemail PIN)] の両方のボックスに 13572468 と入力し、[保存 (Save)] をクリックします。 Taylor の電話機でボイスメール ボタン [] を押し、PIN として 13572468 と入力し、シャープ (#) を押します。 <p>次に、ボイスメールを設定します。これは必須ではありませんが、設定後に Kellie の電話からのメッセージを残すことによってテストできます。時間短縮のために、このままガイドを続行して、後でボイスメールの設定を示すこともできます。</p> <p>[ボイスメールから電子メール (Voicemail to Email)] の場合は、ボイスメールを残したあと、OWA (https://mail1.dcloud.cisco.com/owa) に dcloudtbard、パスワード C1sco12345 でログオンします。添付ファイルを開くとボイスメールを聞くことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Taylor の Webex Teams クライアントを表示して、Webex Teams メッセージを確認します。 着信をボイスメールに転送するには、Kellie の電話から Taylor にダイヤルし、Taylor の電話で応答します。 転送ボタン [] を押します。 スタート [*] ボタンを押し、Kellie または Taylor の 4 桁の内線番号を押します。数秒以内に通話はユーザのボイスメールに直接転送されます。

シナリオ 2: Cisco Webex ルーム デバイス

Charles Holland が Cisco Webex のトライアル導入を続け、Cisco DX/SX/MX/Webex Board デバイスを登録します。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>Cisco Webex Room デバイス</p> <p>ルーム デバイスを迅速に作成する場合は、dCloud ポットを ここで 示すとおりを使用します。その場合には <code>/rd</code> コマンドを使用するか、またはワンボタン機能を後で使うために <code>/obtp</code> を使用します。Cisco Webex デバイス向けにハイブリッドコール サービスのデモンストレーションを計画している場合には、<code>/hybrid</code> コマンドを使用してデバイスを作成します。このコマンドには、OBTP の設定が含まれています。</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>Cisco Webex トライアルはこれまでのところ大変うまくいっています。ユーザ設定やエンドポイントの登録はシンプルながら強力です。エンド ユーザはセルフケア ポータルに正常にログインでき、自分のエンドポイントを登録できました。</p> <p>次に自分の VP のテレプレゼンス会議室向けにルーム デバイスを登録します。この作業がうまくいけば、社内での導入をより大規模に進めることを検討できます。</p> <p>管理ポータルに移動し、新しいデバイスとしてルーム デバイスを追加します。ルーム デバイスをリセットした後、ポータルからコードを入力するとすぐにルーム デバイスがすべて登録され、機能するようになります。</p> <p>コラボレーション ユーザのエンドポイントの登録と同様に、ルーム デバイスもすばやく簡単に登録できました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • https://admin.webex.com に戻って、<code>cholland@(collabedge-または cb)XXX.dc-YY.com</code> として、パスワード <code>dCloud123!</code> でログインします。 • [デバイス (Devices)] タブをクリックします。2 つの電話機がオンラインになっています。[新しいデバイス (New Device)] をクリックします。dCloud ポットを使用してルーム デバイスをすでに登録済みの場合にはスキップします。 • [その他のシスコ Webex デバイス (Other Cisco Webex Device)] を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。 • [新しい場所 (New Place)] を選択し、下部にあるボックスに会議室などの適切な名前を入力し、[次へ (Next)] をクリックします。 • [Cisco Webex ハイブリッドコール サービス接続 (Cisco Webex Hybrid Call Service Connect)] をクリックします。[カレンダー (Calendar)] をオンにします。[次へ (Next)] をクリックします。 <p>注: ハイブリッドコールで作成できるルーム デバイスは 1 つだけです。ハイブリッドコール デバイスを設定する前に、finish_hybrid_setup.bat スクリプトを実行して完了しておく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mail ID に電子メールアドレス <code>hplace@(cb または collabedge-)XXX.dc-YY.com</code> を入力して、[次へ (Next)] をクリックします。 • 電子メール アドレス <code>webexrd@(cb または collabedge-)XXX.dc-YY.com</code> を入力して、[次へ (Next)] をクリックします。これは事前構成済みメールボックスであり、さらに多くの非ハイブリッド デバイスを作成するには、こちらの 手順 を使用します。 <p>次に、ルーム デバイス用の 16 桁のコードの画面が表示されます。次の手順は初期設定へのリセットから始めることを推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスの [ようこそ (Welcome)] 画面で、[開始する (Get Started)] をクリックします。 • セットアップ ウィザードを (必要な場合には) [通話サービスの選択 (Choose a call service)] 画面が表示されるまで終了します。[Cisco Spark] を選択します。 • 16 桁のコードを入力して、[有効化 (Activate)] をクリックします。ホーム画面が表示されるまで、設定を続けます。 • 管理ポータルに戻り、<input type="checkbox"/> をクリックします。 <p>ルーム デバイスが Cisco Webex に登録されました。これは、シスコのクラウドコラボレーション管理ポータル (https://admin.webex.com) の [デバイス (Devices)] ページにオンラインと表示されます。</p>




手順	説明の要点	操作
2	<p>Cisco Webex Room デバイスの管理</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>設定したルーム デバイスはどのユーザにも気に入られています。とても使いやすく、管理しやすいものになっています。</p> <p>1 つのエリアで複数のルーム デバイスを設定していますが、ユーザから、間違ったデバイスとペアリングされることがあるという報告があがっています。これはデバイスの超音波スピーカーの音量と関係していると思います。そのため、管理ポータルを使用してルーム デバイスに接続し、超音波スピーカーの音量を下げるつもりです。</p> <p>Webex ではビデオ会議デバイスを簡単に管理できます。必要な操作は、管理するビデオ会議デバイスを選択し、[高度な設定を起動する(Launch Advanced Settings)] をクリックすることだけです。</p> <p>ここからさまざまなオプションを設定できますが、この状況では超音波スピーカーの音量を変更します。</p> <p>その後:</p> <p>ユーザに確認したところ、超音波デバイスの音量を下げたことでペアリングの問題は解決しました。</p> <p>Cisco Webex を使用すると、管理ポータルでデバイスを簡単に管理できるため、とても助かっています。</p>	<p>注: この手順を行うには、コンピュータとビデオ会議デバイスが同じネットワーク上にあるか、コンピュータからビデオ会議デバイスにネットワーク経由でアクセスできる必要があります。同じネットワーク上にあり、スプリットトンネリングのため AnyConnect で dCloud に接続している場合は、アクセスできるはずですが、デバイスにアクセスできない場合は、AnyConnect からの切断が必要になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シスコ クラウド コラボレーション管理ポータル (https://admin.webex.com) に戻ります。必要に応じて、cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com とし、パスワード dCloud123! でログインします。 • [デバイス (Devices)] タブをクリックします。 • 前の手順で追加したビデオ会議デバイスが表示されます。そのビデオ会議デバイスをクリックします。 • ポップアップ ウィンドウで一番下までスクロールし、[高度な設定を起動する(Launch Advanced Settings)] をクリックします。 • [続行 (Proceed)] をクリックします。 • [セットアップ (Setup)] > [設定 (Configuration)] の順に移動し、[音声 (Audio)] を選択します。 • [超音波 (Ultrasound)] セクションの下で、[最大レベル (MaxLevel)] を 50 に設定して、[保存 (Save)] をクリックします。

シナリオ 3: Cisco Webex Teams モバイル アプリ

このシナリオでは、Cisco Webex Teams のモバイル アプリケーションをデモンストレーションします。現在の設定をテストする前に、iOS や Android 端末で App Store を開き、Cisco Webex Teams アプリをダウンロードします。すでに Cisco Webex Teams がインストールされている場合は、一度ログアウトします。次の手順では、Webex 通話に登録された電話機とルーム デバイスが示されます。これらが登録されていない場合、別の Cisco Webex Teams クライアント(モバイル、Web、デスクトップ)にログオンして、クライアント間で Webex 通話やメッセージ交換ができます。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>Cisco Webex Teams モバイル アプリ</p> <p>こんにちは、dCloud Realty のプロジェクト マネージャ、Taylor Bard です。私はモバイル社員なので、どこにいても自分のプロジェクト チームとの接続を保てるのが非常に重要です。</p> <p>Charles Holland から Cisco Webex Teams モバイル アプリのトライアルの話を受けたとき、ぜひやりたいと思いました。Cisco Webex の初期導入はうまくいき、すでにプロジェクト チームと一緒に使い始めています。モバイル アプリケーションを追加すると確実に生産性が向上します。</p> <p>自分のスマートフォンで App Store にアクセスし、アプリケーションをダウンロードします。次に、会社の自分のクレデンシャルを使用してサインインします。Cisco Webex はクラウドに置かれているため、VPN セッションをアクティブにすることなく自分のクレデンシャルで安全にサインインできます。</p> <p>Kellie Melby から Webex 通話で電話がかかってきます。私はオフィスに入るところなので、モバイル デバイスで応答します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モバイル デバイスで、Taylor Bard (tbard@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com)として、パスワード dCloud123! で、Cisco Webex Teams にサインインします。 Kellie の 7800/8800 電話機で、Taylor の 4 桁の内線番号 (5026)をダイヤルします。 Cisco Webex Teams アプリで着信を待ちます。表示されたら応答します。Kellie の電話機をミュートして、フィードバックを停止します。

手順	説明の要点	操作
2	<p>通話が接続され、Kellie と少し会話をします。Cisco Webex ビデオ会議デバイスで、開いている会議室に入りました。通話をルーム デバイスに移動して、大画面で通話できるようにすることにしました。そのために必要な操作は、画面をタップして上にドラッグし、通話を移動することだけです。</p> <p>実にシンプルでした。自分の電話機からこのビデオ会議デバイスの音量をミュートしたり調整したりすることもできます。リモートはもう必要ありません。</p> <p>次に、Kellie が必要としていたドキュメントを取りにオフィスに向かう必要があります。Cisco Webex Teams では、ビデオ会議デバイスからモバイル デバイスに通話を移動して会話を続行できます。</p> <p>Kellie との会話が終わったら、この通話を終了するだけで済みます。</p> <p>通話が終わった後、Cisco Webex Teams アプリケーションの評価を星 5 つにしました。素晴らしい製品だからです。</p> <p>価値提案:</p> <p>Cisco Webex Teams のモバイル アプリを使用すると、ユーザは移動中でも簡単にチームとコミュニケーションを続けられます。Webex 通話やメッセージ サービスを使用することさえできます。Cisco Webex はクラウドでホストされているため、アクティブな VPN 接続を維持していなくてもすべて安全に実現できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議デバイスとペアリングされていることを確認します。 上矢印  をタップして画面の上に向けてドラッグし、通話をモバイルデバイスからビデオ会議デバイスに移動させます。 これで、ルーム デバイスと電話機の間にはビデオ通話が確立されました。モバイル デバイスを使用して通話を管理できます。必要に応じて、この管理のデモンストレーションを行うことができます。 下矢印  をタップして画面の下に向けてスライドさせて、モバイル デバイスに通話を戻します。[Hang up] をタップすると、ルーム デバイスでの通話を終了できます。  ボタンをタップしてモバイル デバイスから通話を終了します。よろしければ、通話に 5 つ星評価を付けてください。 必要に応じて、モバイル アプリから Kellie の 4 桁の内線番号 (5050) にダイヤルして、別の方法をテストすることもできます。 <p>注: この移動通話機能は Cisco Webex Teams デスクトップ クライアントでも利用可能です。これは [移動通話 (Move call)] とアクティブな通話ウィンドウをクリックするだけで使用でき、ルーム デバイスに移動するかまたはデスクトップに戻ります。</p>

シナリオ 4: ハイブリッド サービス: カレンダー サービス

このシナリオでは、Webex カレンダー サービスをデモンストレーションします。カレンダー コネクタを通じて Microsoft Exchange や WebEx にカレンダー サービスを接続することで、Webex Teams スペースまたは WebEx 会議を作成できます。会議の招待状に「@spark」または「@webex」を追加することで、全招待者を招待できます。

Microsoft Exchange と Cisco Webex Teams の統合

Cisco Webex Teams カレンダー サービスを使用すると、モバイル デバイスからでも会議のスケジュールを簡単に設定できます。

モバイル テクノロジーへの依存性が高まるにつれて、多くの従業員が携帯電話を使用して会議のスケジュールを設定したいと思うようになってきました。ただし、組み込み型のモバイル カレンダー アプリケーションではプラグインを使用できません。そのため、会議出席者をモバイル アプリから招待する場合、Cisco Webex Teams 会議や Cisco WebEx 会議に参加する方法についての情報を簡単に送信することはできません。

同時に、Microsoft Outlook Web Access (OWA) は使いづらく、ユーザは参加情報を手動でコピーして OWA に貼り付ける必要があります。この問題は重大であるため、多くのユーザは試すことすらしません。オフィスに着くまで待つか、ラップトップを使用して会議のスケジュールを設定することになります。

あらゆるデバイスからの会議のスケジュール、開始

Cisco Webex ハイブリッド カレンダー サービスを使用すると、これらの問題を解決できます。どこにいても、あらゆるデバイスから会議のスケジュールを簡単に設定でき、Cisco Webex Teams ルームを自動的に作成できます。

Cisco Webex Teams の基本的な会議機能を使用しているユーザの場合、Microsoft Outlook の招待状の場所フィールドに @Spark を追加すると、招待者用の Cisco Webex Teams ルームが自動的に作成されます。チームは会議の開始前でも、会話を開始してドキュメントやアイデアを共有できます。

さらに、Cisco Webex Teams の高度な会議サブスクリプションを保持するユーザは、Outlook の招待状の場所フィールドに @WebEx を追加できます。これにより、Cisco WebEx 会議に参加する方法についての情報が招待状の本文に自動的に入力されます。場所フィールドに @Spark と @WebEx を追加すると、上記の両方の結果が得られます。

Cisco Webex ハイブリッド カレンダー サービスでは、プラグインを使用する必要も参加情報を手動でコピーして貼り付ける必要もなく、これらすべての機能を使用できます。会議の招待状にこのテキストを追加するだけで、デバイスや場所を問わずに会議のスケジュールを設定できます。Microsoft Exchange をサポートするモバイル デバイスや OWA からでも設定可能です。

Cisco Webex ハイブリッド カレンダー サービスの仕組み

ハイブリッド カレンダー サービスは、単独で導入することも、他の Cisco Webex Hybrid Services のいずれかと併せて導入することもできます。これらのサービスを支援するために、ソフトウェア アプリケーションまたはコネクタをオンプレミスまたは Cisco Hosted Collaboration Solution パートナー クラウドに導入して実行する必要があります。ハイブリッド カレンダー サービス コネクタには [Cisco Expressway](#) が必要です。

このサービスまたは Cisco Webex Hybrid Services のいずれかは、サブスクリプションや料金を追加せずに導入できます。ハイブリッド サービス コネクタと Cisco Expressway は無料でダウンロードできます。また、これらは、Cisco Unified Communications ライセンス スキームおよび Cisco Webex サービスに含まれています。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
<p>1</p>	<p>@spark カレンダー サービスのデモンストレーション</p> <p>これらの手順では、ガイドの先頭にあるデモンストレーション事前設定セクションのバッチ スクリプトで設定されているユーザを使用しています。</p> <p>管理者用ポータルで Charles の [カレンダー サービス (Calendar Service)] が有効になっていることを確認します。</p>  <p>まだ [招待保留中 (Invite Pending)] の状態の場合は、まず Charles のアカウントで Webex にログインする必要があります。</p> <p>OBTP を使用する場合は、場所も有効にする必要があります。ルーム デバイスをまだ作成していない場合は、dCloud ボットを使用して作成します。手順についてはここで説明しています。</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>今度は私が新しい Cisco Webex 機能を試す番です。カレンダー サービスを使用すれば、Webex クライアントに切り替えることなく、自分の Outlook のクライアントで Webex 会議の招待状を作成できます。1 つのウィンドウですべての作業ができるので非常に効率的になります。さらに、ワンボタン機能 (OBTP) のために、ルーム デバイスを招待に追加することもできます。</p> <p>追加したルーム デバイスが会議出席依頼を承認したので、ルーム デバイスが使用可能であることがわかりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Workstation 1 (198.18.1.36) へのリモート デスクトップ接続を行い、ユーザ名: dcloud\cholland、パスワード: C1sco12345 でログインします。 Cisco Webex Teams を開いて、cholland@(collabedge-または cb)XXX.dc-YY.com として、パスワード dCloud123! でログインします。 タスクバーのアイコン  をクリックして Outlook を開きます。 Outlook の下部にある [カレンダー (Calendar)] をクリックし、 [新規会議 (New Meeting)] [Meeting] をクリックします。 [Anita Perez]、[Taylor Bard]、[Kellie Melby] を [宛先 (To)] 行に追加します。必要に応じて自分の電子メール アドレスまたは他のデモ ユーザの電子メール アドレスを追加できます。招待状には必ず少なくとも 1 人の他のユーザを追加してください。 適切な [件名 (Subject)] を入力します。 [場所 (Location)] に、@spark と入力します (@webex を同時には使用しないでください)。 OBTP の場合は、[場所 (Location)] フィールドの最後の [ルーム… (Rooms…)] をクリックします。 [Webex ルーム デバイス (Webex Room Device)] または [ハイブリッドの場所 (Hybrid Place)] (ボットが /hybrid コマンドで使用されている場合) と、これらの手順で以前に作成した他のすべてのデバイスを選択し、[OK] をクリックします。 [いいえ (No)] をクリックして場所のポップアップを更新します。 [予定 (Appointment)] をクリックして、ワークステーション 1 の時計の表示に基づいて、今日の開始/終了時刻を将来の日時で設定します。OBTP とミーティング通知を機能させるには、少なくとも 10 分先の時間を設定します。 メッセージの本文に適切なテキストを入力します。 @spark がまだ [場所 (Location)] フィールドにあることを確認して、[送信 (Send)] をクリックします。 追加した場合には、ルーム デバイスから受け入れられたことを示す電子メールを受け取るはずですが。

手順	説明の要点	操作
2	<p>カレンダー コネクタで自分用の Webex 会議が自動的に作成されます。会議で使用する Webex スペースも作成されるというメリットもあります。これによって、手でスペースを作成する手間が省け、すぐに準備が完了します。</p> <p>この会議の詳細は、新しい Cisco Webex スペースに掲載されます。参加者は全員このスペースに自動的に追加されているので、詳細を確認し、会議に使用するコンテンツを追加して準備を始めることができます。</p> <p>さらに会議リストに会議が表示されます。各会議をクリックして、誰が招待されているか、および追加したルーム デバイスを確認できます。自分からの招待を相手を受け入れたかそうでないかも表示されています。</p> <p>会議の 5 分前:</p> <p>[参加 (Join)] の通知を受け取ったので、会議に参加する時間のようです。</p> <p>[参加 (Join)] をクリックして Webex Teams クライアントから直接参加できます。これはとても便利です。もう会議に参加しそびれることはありません。</p> <p>追加したルーム デバイスに大きな緑色の [参加 (Join)] ボタンがあり、スケジュールされた会議にすぐに参加できることがわかります。Charles がすでに会議に参加していることもわかります。このボタンを押すと、すぐに会議に参加できます。ダイヤルする番号などはありません。Webex Teams を使用すると、手順がとても簡単になります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • カレンダー コネクタは @spark を読み取り、Webex 会議室情報を会議出席依頼に入力します。また、すべての参加者との Cisco Webex Teams スペースが作成されます。しばらくして新しい会議の招待状を開くと、Webex 会議情報が最下部に表示されます。情報が入力されていない場合は、会議を閉じて、しばらくしてから再度開きます。 • 以前から Charles としてログインしている Webex Teams アプリを開きます。 • これで自分のアカウントにスペースが 1 つできました。スペースの名前は、会議の招待状で使った件名と同じものになります。 • スペースをクリックすると、会議の詳細がそのスペースに掲載されていることがわかります。 • [会議 (Meetings)] [📅] アイコンをクリックして、会議リストを表示します。ミーティングをクリックして、ルーム デバイスを含む参加者を表示します。ユーザが招待を受け入れたかどうかを確認することができます。 • Cisco Webex Teams アプリで参加通知を受け取ったら、[参加 (Join)] をクリックします。 • ルーム デバイスで、Charles はすでに会議に参加していることを確認します。[参加 (Join)] ボタンを押すと、進行中のミーティングに直接入ります。

手順	説明の要点	操作
3	<p>@webex カレンダー サービスのデモンストレーション</p> <p>この @webex カレンダー サービスを使用して、個人用会議室の WebEx 会議をスケジュールすることができます。</p> <p>スケジュールしたら、自分の WebEx 個人会議室情報がカレンダーへの招待に入力されていることがわかりました。</p> <p>また、OBTP により、自分のエンドポイントから会議開始時刻の 5 分前に参加が促され、@spark と同じようにすでに会議に参加している人が表示されます。</p> <p>Webex の機能は大変素晴らしいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 前の会議がまだ進行中の場合、カレンダーで会議を右クリックして、[会議のキャンセル(Cancel Meeting)]を選択し、[キャンセルの送信(Send Cancellation)]をクリックしてルーム デバイスを解放します。ルーム デバイスを二重予約することはできません。 • @spark での手順と同じ方法でカレンダーへの招待をセットアップします。ただし今回は @spark を [場所(Location)] フィールドに追加する代わりに、@webex のみを追加します。 • @spark と @webex は、同じカレンダーでの招待には使用しないでください。 • 残りの手順は、前と同じです(Webex Teams スペースの作成を除く)。会議出席依頼には、前のように Webex Teams 会議情報ではなく、WebEx 会議情報が表示されます。 • @webex を使用すると、Webex Teaams スペースは作成されません。

シナリオ 5: ハイブリッド サービス: コール サービス認識およびコール サービス接続

コール制御をクラウドに拡張

Cisco Webex ハイブリッド コール サービスでは、コール制御を Cisco Webex と非常に緊密に統合できるため、どのユーザからも 1 つのサービスとして認識されます。

Cisco Webex Teams のメッセージング、会議、通話の全機能を必要としている組織で、すでにシスコの電話システムが導入されているケースは少なくありません。また、モバイル通話およびコラボレーション用に Cisco Jabber を使用している場合や、通話機能をクラウドに移行する段階に達していないか、移行を希望しない場合もあります。

Cisco Webex ハイブリッド コール サービスでは、既存のコール制御の使用を維持しながら、Cisco Webex サービスがもたらす新たな利点をすべて活用できるようにします。ハイブリッド コール サービスは、Cisco Collaboration Cloud 内の Cisco Webex メッセージ機能および会議機能を、次の Cisco Call Control システムと統合します。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Business Edition 6000
- Cisco Business Edition 7000
- Cisco Hosted Collaboration Solution (Cisco Hosted Collaboration Solution のプロバイダーが Cisco Webex Hybrid Services を提供していることを確認してください)

Cisco Webex ハイブリッド コール サービスは 2 つのコンポーネントで構成されています。

- **コール サービス認識:** Cisco Webex に既存の Cisco Call Control 内の通話アクティビティを認識させます。
- **コール サービス接続:** Cisco Webex と既存の Cisco Call Control 間の通話を可能にし、1 つのシステムとしてユーザに表示されるようにします。

Cisco Webex ハイブリッド コール サービスの利点

画面を簡単かつ即座に共有

Cisco ハイブリッド コール サービスでは、他の Cisco Webex Teams ユーザとの通話中にインスタント デスクトップ共有を実行できます。会議のスケジュール設定、招待、開始などの追加の手順は不要です。クリック 1 つで画面を共有できます。

社内のプランでモバイル通話を実行

Cisco Webex Teams アプリを使用してモバイルで音声通話やビデオ通話を行う場合、アプリはハイブリッド コール サービスを使用してコール制御のソフトフォン クライアントになります。Webex Teams ユーザは、デスクにいるときと同じように、社内のダイヤル プランを使用して内線から誰とでも通話を受発信できます。

連絡がさらに容易に

ハイブリッド コール サービスでは、Cisco Webex Teams アプリから受発信する場合でも、すべてのデバイスでオフィス電話の番号を使用できます。通話を着信すると、デスクフォン、Jabber、Cisco Webex Teams の呼出音が鳴ります。いずれかに応答すると、その他のデバイスの呼出音も止まります。

通話履歴の統合

現在、通話履歴の多くは実際に通話に使用したデバイスからのみ利用できます。しかし、通話履歴は、通話相手に発信するうえで最も便利な手段の 1 つです。ハイブリッド コール サービスでは、そうした利用価値の高い通話履歴をいずれかのデバイスだけでなく、Cisco Webex Teams でも利用できるようにします。シスコ デスクフォン、Jabber クライアント、Webex Teams アプリのいずれを使用したかに関係なく、組織の電話システムで受発信した通話をすべて確認できます。

コミュニケーション履歴を 1 カ所に保持

通話相手との前回の通話日時がわかり、通話時に参照できると役立つことがよくあります。ハイブリッド コール サービスを使用して他の Cisco Webex Teams ユーザと通話すると、そのユーザと共有している 1 対 1 の Cisco Webex Teams スペースに通話イベントが追加されます。これで、スペースにチャットや共有ドキュメントだけでなく、通話履歴も含まれるようになります。

機能の概要




ハイブリッド コール サービスは、単独で導入することも、他の Cisco Webex Hybrid Services のいずれかと併せて導入することもできます。これらのサービスを開始するために、ソフトウェア アプリケーションまたはコネクタを、オンプレミスまたは Cisco Hosted Collaboration Solution パートナー クラウドに導入して実行する必要があります。ハイブリッド コール サービス コネクタには [Cisco Expressway](#) が必要です。

このサービスまたは Cisco Webex Hybrid Services のいずれかは、サブスクリプションや料金を追加せずに導入できます。ハイブリッド サービス コネクタと Cisco Expressway は無料でダウンロードできます。また、これらは、Cisco Unified Communications ライセンス スキームおよび Cisco Webex サービスに含まれています。

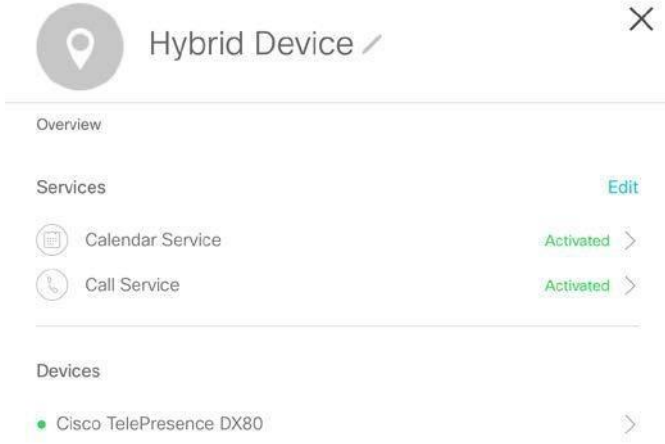
デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
<p>1</p>	<p>Cisco Webex ハイブリッドコール サービス</p> <p>コール サービス認識をテストするには、オンプレミスで登録された電話と Cisco Webex クライアントを使用するユーザが必要です。デモでは、オンプレミスのソフトフォンとして、ワークステーションにインストールされた Cisco Jabber クライアントを使用できます。</p> <p>Unified CM に登録した電話であれば、どの電話でも使用できます。セッションに接続された Cisco dCloud ルータがあれば、11 人のユーザのいずれかに電話をセルフプロビジョニングさせることもできます。</p> <p>Cisco Webex デスクトップ クライアントは両方のワークステーションにインストールされています。自分のデスクトップにインストールされたクライアントを使用してデモンストレーションすることも可能です。次の手順では、セッション内の 2 台のワークステーションにインストールされた Cisco Jabber と Cisco Webex を使用してコール サービスのデモンストレーションを順に実施します。</p> <p>Anita Perez のトーク:</p> <p>Charles Holland から、私の Cisco Webex アカウントで通話サービスが有効化されているというメモを受け取りました。これから試そうと思うので、自分の Cisco Webex Teams クライアントにログインして開始します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Webex の管理者用ポータルで、ユーザ (Charles と Anita) の [コール サービス (Call Service)] が [有効 (Activated)] になっていることを確認します。  <ul style="list-style-type: none"> まだ接続していない場合は、Workstation 1 (198.18.1.36) にリモート接続し、ユーザ名: dcloud\cholland、パスワード: C1sco12345 でログインします。 Outlook と開いている Web ブラウザがあれば閉じて、タスクバーのアイコンをクリックして Cisco Webex Teams を開きます。 Workstation 1 で Webex Teams デスクトップ クライアントが開いたら、Charles (ユーザ名: cholland@ (collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) としてログインします。 Workstation 2 (198.18.1.37) にリモート接続し、ユーザ名: dcloud\aperez、パスワード: C1sco12345 で接続します。 デスクトップのアイコンをクリックして、Cisco Webex Teams デスクトップ アプリを開きます。 Workstation 2 で Webex Teams デスクトップ クライアントが開いたら、Anita (ユーザ名: aperez@ (collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) としてログインします。

手順	説明の要点	操作
2	<p>これにより、コール サービスでは、Jabber などの Cisco Unified Communications 端末を使用して通話を行う際に、Cisco Webex Teams が自動的に有効になります。</p> <p>Jabber で Charles に電話し、この新しい機能をテストします。想定したとおり Cisco Webex Teams スペースが作成され、私がコールするときには準備が整っています。このスペースを使用して、通話中にメモを取ったり、通話の終了後も会話を続けたりすることができます。通話が有効になっている間、Charles と自分のデスクトップを共有することも可能です。</p>	<p>Charles と Anita はそれぞれの Cisco Webex Teams クライアントにログインしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 両方のワークステーションで Cisco Jabber を開きます。オンプレミスの物理電話機を使用している場合、Jabber は必要ありません。Jabber で Charles から Anita に通話します。これはオンプレミス通話です。Jabber で応答したら Jabber を最小化します。  <ul style="list-style-type: none"> Anita がコールに応答すると、Cisco Webex Teams で、Charles と Anita との間に 1 対 1 スペースが新しく作成されます。このスペースをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> このスペースを使用して、通話中にメモを取ったり、通話の終了後も会話を続けたりすることができます。通話が有効になっている間、Charles と自分のデスクトップを共有することも可能です。

手順	説明の要点	操作
3	<p>Webex Teams デスクトップ共有</p> <p>通話中に Charles との 1 対 1 スペースでデスクトップ共有アイコンをクリックします。これで、通話中に私のデスクトップを Charles と共有し、さらにコラボレーションを行うことができます。</p> <p>この機能がすべて順調に機能することを確認しました。新しいコール サービスに満足していることを Charles に伝え、このセッションを完了します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Workstation 2 で Anita として、両方の Cisco Jabber ウィンドウを最小化し、Charles との 1 対 1 のスペースで画面共有アイコン [] をクリックします。Charles とのデスクトップ共有が開始されます。画面の周囲が赤いボックスで囲まれることによって、デスクトップ共有が始まったことがわかります。 Workstation 1 に戻り、Cisco Jabber を最小化します。Workstation 2 の画面を表示するウィンドウが表示されます。  <ul style="list-style-type: none"> 画面の共有を停止するには、Workstation 2 の画面最上部にある  をクリックします。 Charles と Anita 間の通話を終了します。

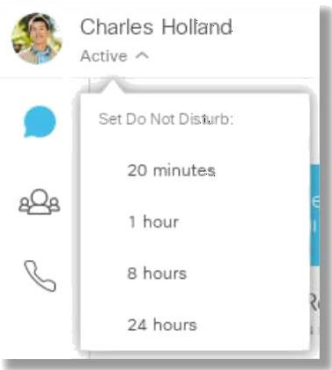
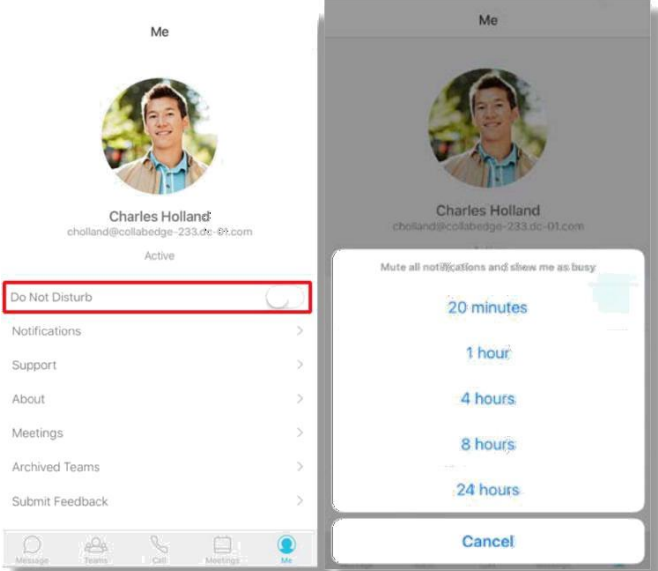
手順	説明の要点	操作
4	<p>コール サービス接続のデモンストレーション</p> <p>次の手順では、設定された 2 人のユーザ (Charles と Anita) について、コール サービス接続のデモンストレーションを実施します。</p> <p>Anita Perez のトーク:</p> <p>私は、Charles と一緒に Cisco Webex のトライアル導入に取り組んでいます。どうやら Charles がコール サービス接続を有効にしたようです。というのも、Charles からの通話を着信した際に、私の Cisco Jabber と Cisco Webex Teams クライアントの両方で着信音が鳴ったからです。</p> <p>私は通話に回答して Charles と導入状況について会話をします。会話中に、自分が使用している会議室のルーム デバイスにコールを移動することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Anita (ユーザ名: aperez@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) として、モバイル デバイスの Cisco Webex Teams アプリにサインインします。 Charles の Workstation 1 (198.18.1.36) に移動し、Jabber を使用して Anita に電話します。 Jabber とモバイル デバイスの Cisco Webex Teams アプリの両方で着信音が鳴ります。モバイルの Cisco Webex Teams アプリで応答します。 ルーム デバイスとペアリングされている場合は、モバイル アプリとルーム デバイスの間で相互に通話を自由に移動できます。 通話を終了します。 Workstation 2 の Webex Teams デスクトップ アプリケーションで通話に応答することもできます。 <div data-bbox="868 940 1377 1150" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> オンプレミス PSTN サービスを使用して Webex Teams クライアントで PSTN 番号のダイヤルをデモンストレーションすることもできます。発信ダイヤル ルールとパターンについては、このページを参照してください。 画面詳細ページに表示される番号を使用して PSTN からの通話を受け取ることもできます。これについては、ここで説明しています。

手順	説明の要点	操作
5	<p>Cisco Webex デバイスのハイブリッドコール サービスのデモンストレーション</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>オンサイト イベントを終えたばかりなのでキャンパス内の別の建物にいますが、唯一の問題は、お客様との会議がすぐにあるため、デスクに戻る時間が無いということです。お客様は自分のブリッジを使用することを希望しており、それには電話番号への通話が必要なため、SIP ダイアルを使用できません。</p> <p>当社はハイブリッドコールと Cisco Webex デバイスを使用しているため、最寄りの空いている会議室に立ち寄って、共有スペースの任意のデバイスからその発信番号にダイアルすることができます。</p> <p>番号にダイアルすると、Cisco Webex ハイブリッドコールにより PSTN 経由でお客様の会議ブリッジに接続されます。</p>	<p>dCloud Webex デモ ボットの <code>/hybrid</code> コマンドを使用して、ルームデバイスが作成されていることを確認してください。この手順については、ここで説明しています。ルーム デバイスが 1 つしかなく、アクティベーション コードを手動または他のボット コマンドの 1 つを使用して作成したのであれば、デバイスを初期設定にリセットし、付与された新しいコードで <code>/hybrid</code> コマンドを使用する必要があります。</p> <p>使用する前に、[コール サービス (Call Service)] で [場所 (Place)] が [有効 (Activated)] と表示されていることを確認します。</p>  <ul style="list-style-type: none"> • ルーム デバイスのコール サービスが有効になったら、画面の左上に DID が表示されるはずですが。 <p>注: 場所のコール サービスが有効と表示される前にデバイスを登録した場合、DID 番号がすぐに表示されないことがあります。通話サービスが有効になっており、番号が表示されるまで待ちたくない場合は、デバイスを再起動できます。再起動後には表示されるはずですが。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PSTN からのこの DID 番号への着信コールを受け取ることができます。 • 発信ダイアル ルールとパターンについては、このページを参照してください。

シナリオ 6: Cisco Webex Teams クライアントの機能



このシナリオでは、Cisco Webex Teams クライアントの新機能をいくつか説明します。このシナリオでは自分のクライアントを使用できませんが、手順では Charles と Anita のワークステーションにインストールされたクライアントを使用します。



デモンストレーションの手順

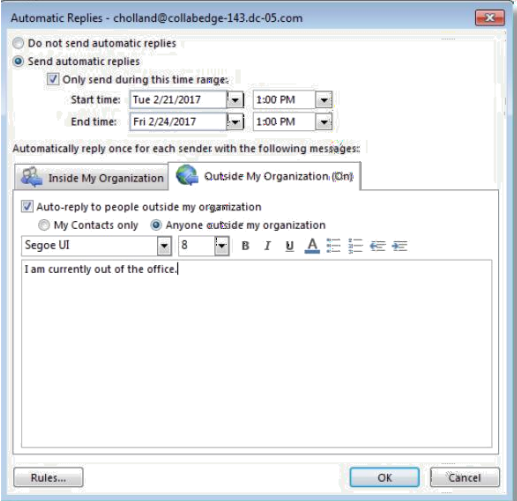
手順	説明の要点	操作
<p>1</p>	<p>応答不可のデモンストレーション</p> <p>Charles のトーク:</p> <p>Cisco Webex Teams で使用できるすべての新機能が気に入っています。こうした機能の 1 つに 応答不可があります。応答不可は Webex Teams アプリケーションで簡単に設定できるため、会議などの重要な時間に邪魔されないようにできます。これから会議に出席するので、今ここで 応答不可を設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Spark クライアントをワークステーション 1 で開きます (198.18.1.36)。資格情報は dcloud\cholland で、パスワードは C1sco12345 です。Cisco Spark デスクトップ クライアントに Charles としてログオンしている間に、ユーザ名の下にあるドロップダウンをクリックし、応答不可に設定する時間を選択します。  <ul style="list-style-type: none"> モバイル クライアントを使用してデモンストレーションすることもできます。 

手順	説明の要点	操作
2	<p>スケジュール済み Webex Teams 会議のデモンストレーション</p> <p>私は Cisco Webex Teams を使用した会議の開催が本当に気に入っています。チームとの臨時会議の開始や、カレンダーに配置できる定期開催のスケジュール済み会議の設定を、すばやくかつ効率的に実行できます。</p> <p>Cisco Webex Teams を使用してチーム会議を設定したいと考えています。今からその設定を行います。まず、Webex Teams スペースを作成してこのスペースにチームを追加します。</p> <p>スペースを作成したら、このスペースと Outlook を使用してスケジュール済み会議を設定します。</p> <p>会議の招待状が表示されると、メッセージ内にすでにリンクが作成されていることがわかります。ユーザはこのリンクをクリックするとすぐに会議に参加できます。また、ビデオ アドレスを取得できるため、必要に応じてビデオ エンドポイントから直接ダイヤルインできます。Webex にはさまざまな接続オプションがあるので、非常に便利です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Workstation 1 で、Charles(ユーザ名: cholland@collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!)として Cisco Webex Teams クライアントを開き、Outlook も開いていることを確認します。 [スペース作成(Create Space)] ボタン [] をクリックし、[スペースの作成(Create a Space)] を選択します。 スペースにチーム会議という名前を付けます。 Anita とその他数人を追加します。 全員を追加したら、[作成(Create)] をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> スペースにメッセージを送信し、全員とのスペースを開始します。 アクティビティ メニュー [] をクリックし、[会議(Meetings)] [] を選択します。 [会議の招待状の作成(Create Meeting Invite)] をクリックします。 Outlook を前面に表示して、会議の招待状が表示されるまで待ちます。 開始時間や終了時間を変更したり、定期開催を追加したり、メッセージを追加したりできます。完了したら、[送信(Send)] をクリックします。

手順	説明の要点	操作
3	<p>Webex Teams 会議の使用のデモンストレーション</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>会議の時間になったため、カレンダー エントリを開き、その中のリンクを使用して会議に参加します。</p> <p>Cisco Webex Teams アプリケーションが開いて、ボタン 1 つで会議に電話で参加できるのが素晴らしいですね。</p> <p>Anita Perez のトーク:</p> <p>チーム会議に参加する時間のようです。Cisco Webex Teams アプリケーションで、Charles がすでに参加していることを確認できます。私も参加します。</p> <p>モバイル クライアントにログインしている別のユーザのトーク:</p> <p>私はアポイントメントがあるため、デスクでチーム会議に参加できません。幸い、Cisco Webex Teams を使用するとどこからでも参加できます。Charles と Anita がすでにスペースに入っているのを確認できるため、Cisco Webex Teams クライアントを使用して、すでに進行中のチーム会議に参加します。</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>モバイル ユーザから背景雑音が聞こえるようです。参加者リストにアクセスしてミュート アイコンをクリックすると、そのユーザの回線を簡単にミュートできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • カレンダー エントリを開き、生成された [Cisco Webex Teams 会議に参加 (Join Cisco Webex Teams meeting)] リンクをクリックします。 • まず Web ブラウザでリンクが開き、デスクトップ クライアントがあることが認識されると、Webex Teams デスクトップ クライアントが開きます。 • [通話 (Call)] をクリックします。 • Workstation 2 に移動して Webex Teams を (まだ開いていないなら) 開き、Anita Perez として (aperez@collabedge- または cb)XXX.dc- YY.com およびパスワード dCloud123! で) サインインします。 <p>Charles が会議を開始したため、Anita は Webex Teams デスクトップ クライアントで参加通知を受け取ります。スペースにすでに参加しているすべての参加者のアバターが表示されていることもわかります。この場合は、Charles だけが参加しているため、Charles のアバターのみが表示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [参加 (Join)] をクリックします。 • モバイル クライアントから、スペース内の他のユーザの 1 人としてログインします。 • モバイルの Webex Teams アプリで [参加 (Join)] をタップして、進行中の会議に参加します。会議に Anita と Charles のアバターが表示されていることを確認します。 • ミュートを表示するには、携帯電話でミュート解除をタップします。 • いずれかのクライアントから参加者リストにアクセスします。表示されていない場合は、アクティビティ メニューをクリックして [ユーザ (People)] を選択します。 • モバイル ユーザをミュートします。 • 通話中はどのクライアントとも気軽に画面を共有できます。 • 完了したら、すべてのクライアントから通話を切断します。

手順	説明の要点	操作
4	<p>Webex Teams クライアントのホワイトボードのデモンストレーション</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>これまで、ファイルの共有やメッセージの送信などのコラボレーションが可能でしたが、ホワイトボード アクティビティが加わったことで、チームメートとの連携の幅が広がりました。すばやく描画してチーム スペース内で、またはチーム通話中に共有できます。</p> <p>このようにすばやく描画してチーム スペースに掲載し、他のメンバーが必要に応じて編集できるようにします。</p> <p>別のチーム メンバーのトーク:</p> <p>Charles が描画した図をチーム スペースに掲載したことを確認しました。参加してこの図をすぐに編集する必要があります。</p> <p>この別の図を作成しましたが、もう必要ありません。手順を進めて、それを削除します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどスケジュール済みミーティング タスク用に作成したスペースのいずれかのユーザを使用して、いずれかの Webex Teams クライアントで Cisco Webex Teams を開きます。 スペース内で、[アクティビティ(Activities)] メニューをクリックします。 [ホワイトボード(Whiteboard)] [] をクリックします。 下部の [新規(New)] をクリックします。 ホワイトボードで描画を開始し、終了したら [スナップショットの掲載(Post snapshot)] をクリックして、スナップショットをスペースに送信します。新しいホワイトボードが追加されたことがすべての参加者に通知されます。 別のクライアントから、スペース内のスナップショットをタップまたはクリックします。デスクトップ クライアントでは、編集対象のホワイトボードが開きます。 モバイル クライアントでは、編集アイコン [] をタップします。 そのクライアントで図に編集を加えます。変更内容は自動的に保存され、他のユーザに対する表示がリアルタイムで更新されます。 現在のホワイトボードの下部にある [すべてのホワイトボード (All whiteboards)] をタップまたはクリックすると、このスペース内のすべてのホワイトボードを表示できます。[新規(New)] をもう一度タップまたはクリックして、ホワイトボードをさらに作成することもできます。 ホワイトボードに移動して、削除する任意のホワイトボードのゴミ箱アイコンをクリックします。

手順	説明の要点	操作
5	<p>モデレータスペースとアナウンススペースのデモンストレーション</p> <p>Charles のトーク:</p> <p>このチーム ミーティング スペースをモデレータ ルームとしてセットアップし、アナウンス モードをオンにするつもりです。このようにしてこのスペースを使用して、今後のイベントについてチームに通知できます。今すぐ更新をチームに送信するつもりです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 以前に作成したチーム ミーティング ルームを開きます。 • [] ボタンをクリックして、[モデレータ スペース (Moderate space)] オプションを選択し、ポップアップ ウィンドウで [はい (Yes)] をクリックします。 • アクティビティ メニューをクリックし、[ユーザー (People)] を選択します。 • スペースの唯一のモデレータになったことを確認できます。任意の人を右クリックして、[モデレータとして割り当て (Assign as moderator)] を選択できます。 • [] ボタンを再度クリックし、[アナウンス モードをオン (Turn on announcement mode)] を選択して、アナウンス スペース モードをオンにします。ポップアップ ウィンドウで [OK] をクリックします。 • スペースにアナウンスを送信します。 • スペースの参加者の 1 人としてルームを表示し、下部のメッセージを確認します。

手順	説明の要点	操作
6	<p>不在のデモンストレーション</p> <p>Charles Holland のトーク:</p> <p>私は数日間、オフィスを不在にする予定です。他の人にわかるように Outlook で不在を設定します。幸い、当社向けに設定されたカレンダー サービスを使用すると、他の人は私が不在にしていることを Cisco Webex Teams クライアントでも確認できます。</p> <p>Anita Perez のトーク:</p> <p>Charles とチャットする必要があります。Cisco Webex Teams で、Charles に電話できるかどうかを確認します。</p> <p>1 対 1 のスペースを見ると、Charles が不在であることがわかりました。オフィスに戻ったら電話をくれるように依頼する Webex Teams メッセージを送信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Workstation 1 で、Outlook を開きます。 左上にある [ファイル(File)] タブをクリックします。 [自動応答(Automatic Replies)] をクリックします。 [自動応答を送信する(Send automatic replies)] オプションボタンをクリックします。 [次の期間のみ送信する(Only send during this time range)] チェックボックスをオンにします。 まだ設定していない場合は、[開始時刻(Start time)] を過去の時刻に設定します(今すぐ有効にするため)。 [終了時刻(End time)] を未来の時刻に設定します。 下部にあるボックスに、「現在不在にしております」などのテキストを追加します。 [自分の所属組織外(Outside My Organization)] タブをクリックし、このボックスにもテキストを追加します。[OK] をクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> Charles の Webex Teams クライアントに戻ります。検索、@メンション、1 対 1 のスペースへのアクセスなどの Webex Teams アクションを実行すると、不在のチェックがトリガーされます。変更すると、[設定した終了時刻の 1 分前まで不在(Out of Office until one minute before the end time you set)] と表示されます。時間範囲を設定していない場合、ステータスは [不在(Out of Office)] とだけ表示されます。スペースを使用して Anita にメッセージを送信することで、変更をトリガーします。 Workstation 2 で、Charles とのスペースにアクセスします。Charles の名前を検索したときと同じように、ここでもステータスが設定されます。オフィスに戻ったら電話をくれるように依頼するメッセージを Charles に送信します。

シナリオ 7: Webex Board

Cisco Webex Board: 会議室向けのスリーインワンのチーム コラボレーション デバイス

Cisco Webex™ Board は、ワイヤレス プレゼンテーション機能、デジタル ホワイトボード機能、およびビデオ会議を統合する新しいチーム コラボレーション デバイスです。完全なクラウドベースおよびタッチベースで、豊富なチーム コラボレーション向けに設計されており、物理的な会議室と仮想会議室を安全に接続します。物理的な会議室の中にあっても、Cisco Webex サービスに接続されていれば、会議の開始前や全員が退室した後もワークフローを容易に継続できるようにします。Cisco Webex Teams アプリと対応デバイスにより、物理的な会議室にいるチーム メンバーとリモートで参加しているチーム メンバーの両方が、どこからでも会議、メッセージング、通話やホワイトボード機能を利用できます。

どこにいてもチームと共同作業

Cisco Webex Board は、Cisco Webex サービスおよびアプリと併用されることで、市場のその他のソリューションが想像もつかない、そして他に類を見ないような、チームワークに対する統合型の包括的なライフサイクル アプローチを提供します。Cisco Webex Board 自体は、チームが物理的な会議室で共同作業する必要がある主要なアクティビティを実行します。Cisco Webex Teams サービスは、会議の終了後も作業を続行できるように、ボードを仮想空間に接続します。




Cisco Webex Board ソリューションの主な機能は、次のとおりです。

- **ワイヤレス プレゼンテーション:** プレゼンテーションを会議室の中で共有したり、リモートと共有したりできます。ケーブル、 dongle、アダプタや PIN コードなどは必要ありません。
- **デジタル ホワイトボード:** このホワイトボードには、Cisco Webex Board ペンまたは指で簡単に入力できます。内容は Cisco Webex Teams 仮想空間に自動的に保存されます。Cisco Webex Teams アプリ対応デバイスにより、会議室の内外から複数人でホワイトボードを使用できます。
- **音声/ビデオ会議システム:** 高画質のビデオ通話または原音に忠実な音声通話を Cisco Webex Board で直接実行できます。
- **継続的なワークフロー:** Cisco Webex Board を Cisco Webex Teams の仮想空間に接続します。そこでは、永続的なホワイトボードを安全に作成したり、その他のドキュメントを共有したりできます。別の Cisco Webex Board や Cisco Webex Teams アプリ対応デバイスを使うことで、他のチーム メンバーもこれらを確認したり、編集したりすることができます。

このシナリオでは、ラボですでにデモンストレーションしたあらゆる機能で Webex Board を使用できます。使用している Webex Board は、おそらく Cisco Webex サービスに接続されています。接続されていない場合は、その他のルーム デバイスの場合と同様に Webex Board を追加します ([シナリオ 2](#) を参照)。Webex Board は、このラボで設定した Webex 組織と同じ組織に接続する必要はありません。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>Webex Board での通話(ローカル)</p> <p>デモ ユーザの 1 人のトーク:</p> <p>当社に新しい Webex Board が導入されましたが、素晴らしいです。設定がとても簡単で使いやすい製品です。多くの機能を追加設定なしでローカルで使用できます。</p> <p>これから Rebekah に電話します。</p> <p>このビデオは素晴らしいですね。</p> <p>通話中に自分が見えるように、自分のビデオ映像を固定表示します。Rebekah は、私が会議室のどこにいても私の声が聞こえると言っています。優れたマイクを搭載していますね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電子メール アドレス: rbarretta@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123! を使用して、Rebekah としてモバイル アプリまたはデスクトップ アプリから Cisco Webex Teams にログオンします。 <p>通話</p> <ul style="list-style-type: none"> Webex Board をタップしてメイン画面を表示します。[通話 (Call)]、[ホワイトボード (Whiteboard)]、[画面の共有 (Share screen)] の 3 つのオプションがあります。ホーム画面に戻るには、ディスプレイ下部の中央にあるホーム ボタンをタップします。 [通話 (Call)] をタップします。 Webex Board から、Rebekah の URI (rbarretta) に発信するか、username@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com という形式を使用して Webex Teams クライアントにログインしている別のユーザに発信して、Webex Teams クライアントで応答します。フィードバック(ハウリング)を排除するために両側を必ずミュートしてください。 Webex Board には、音声やビデオのミュート、音量の変更、通話の終了の各オプションが表示されています。これらのオプションが表示されていない場合は、画面をタップします。また、Webex Board の下部から上部にスワイプすると、音量コントロールにアクセスできます。 通話中は自分のビデオ映像が表示されなくなることに注意してください。この映像を固定表示するには、画面をタップして自分のビデオ映像をタップし、[セルフビューの固定表示 (Pin selfview)] をタップします。内蔵 4K カメラでカバーできるアングルの広さに注目してください。ルーム内を移動して、ベストビュー機能をテストします。送信ビデオのためのベストビューを確保できるよう、ビデオがズームするはずです。 複数人でマイクの品質をテストするには、Webex Teams アプリの 1 人以上のユーザに退室させて、Webex Board でそのユーザと会話を続けます。スペースに余裕があれば、Webex Board の周りを歩きながら会話を続けます。12 個のマイクアレイが内蔵されているため、退室したユーザに会議室内のどこからでも音声クリアに伝わります。


手順	説明の要点	操作
2	<p>1対1の通話中における Webex Board ホワイトボード機能の使用</p> <p>通話中に、自分の考えを描画で Rebekah と共有したいと思っていました。Webex Board のホワイトボードにアクセスすると、これを簡単に実現できます。</p> <p>描画の開始時に [リアルタイム共有 (Share live)] をタップすると、Rebekah が描画内容を確認できるようになります。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>このホワイトボード機能はとても便利です。描画内容を正確にリアルタイムで確認できます。また、私も描画に参加できます。この Webex Teams 機能はとても素晴らしいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通話中にホーム ボタンを押して、[ホワイトボード (Whiteboard)] をタップします。 ホワイトボードで描画を開始し、画面右下にある [リアルタイム共有 (Share live)] ボタンをタップします。 Webex Teams クライアントで、ホワイトボードがリアルタイムで表示され、変更内容をすぐに確認できます。クライアントで編集を行うには、編集ボタン  をタップまたはクリックします。[共有の停止 (Stop sharing)] をタップすると、いつでも共有を停止できます。 通話を終了します。 画面上部の中央にある名前をタップすると、Webex Board の SIP アドレスや設定を表示できます。また、このメニューから Webex Board を再起動することもできます。
3	<p>Webex Board でのローカルの画面共有</p> <p>HDMI ケーブルを使用するかワイヤレスで画面を共有することもできます。これは会議室での会議中に非常に役立ちます。会議室にいる全員とデスクトップを簡単に共有できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> HDMI ケーブルがある場合は、まずそのケーブルを使用して画面共有をテストできます。HDMI ポートは、ディスプレイ下部の中央付近の背面にあります。 HDMI でテストしたら、ケーブルを取り外して Cisco Webex デスクトップクライアントを開き、クライアントの右上にある [ワイヤレス共有 (Wireless Sharing)] ボタン  をクリックします。 ドロップダウン リストで Webex Board が選択されていることを確認し、[画面共有 (Screen Share)] をクリックします。 共有する画面またはアプリケーションを選択します。 <p>しばらくすると画面共有が開始されます。画面の共有は、デスクトップ画面上部にある  をクリックするか、Webex Board をタップして [共有の停止 (Stop sharing)] をタップすると終了します。ただし、次のセクションのために画面の共有は維持してください。</p>


手順	説明の要点	操作
4	<p>画面共有での Webex Board の注釈付け</p> <p>Webex では、指摘しようとしている点をさらに強調するために、画面共有に注釈を付けることもできます。</p> <p>注釈付けが完了したので、[完了 (Done)] をタップします。Webex Board の Files フォルダに注釈が表示されます。</p> <p>続けて図に注釈を付けることもできます。保存しておくことで、後で Webex Teams スペースでそれを参照できます。</p> <p>必要であれば後で自分のクライアントで編集することができます。Webex Teams により確かにコラボレーションは簡単に行えるようになります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上記の画面共有の間に、Webex Board 画面をタップして、画面の左上にある [編集 (edit)] ボタンをタップします。注釈を付ける必要があるドキュメント、プレゼンテーション、または図を共有するのは適切です。 これにより現在共有されているスクリーンのキャプチャがとられ、注釈を付けることができるようになります。また、デバイスからの画面共有も終了します。 注釈は画面のどこにでも付けることができます。 終了したら、画面の左下にある [完了 (Done)] ボタンをタップします。こうすると注釈画面は閉じられ、Webex Board の [ファイル (Files)] フォルダ内に置かれます。 [ファイル (Files)] をタップし、注釈を付けていたスクリーン キャプチャを選択します。ここから注釈を付けることを続行できます。 画面右下の [作業の保存 (Save your work)] をタップして、Webex Teams スペースに進捗を保存することもできますこのオプションは [完了 (Done)] をタップしてファイルに保存する前にも使用できました。 [作業を保存 (Save your work)] をタップします。 次の画面で作業が選択されていることを確認し、右の青い矢印をタップして続行します。 次の画面では、以前のペアリングにおける自分の名前が表示されます。作成している新しいスペースに他の人を追加することもできます。 画面はそのままにしておくか、または希望する場合には、新しいスペースに人を追加します。終了したら、青のチェックマークをタップします。 Webex Teams クライアントに移動し、[ファイル (Files)] コンテナにあるスナップショットで新しいスペースが作成されていることを確認します。 しばらくすると画面共有が開始されます。画面共有を終えたら、デスクトップ画面上部にある  をクリックするか、Webex Board をタップして [共有の停止 (Stop sharing)] をタップして終了できます。

手順	説明の要点	操作
5	<p>Webex Board ホワイトボード機能(ローカル)</p> <p>この Webex Board はホワイトボード機能が優れています。会議室に入ったらホワイトボードを起動して、使い始めることができます。</p> <p>図を描画して、さらにもう 1 つ描画します。これは特に会議中に役立ちますね。ローカルで作成したホワイトボードを削除することもできます。1 つずつクリックして削除するか、一度にすべて削除することができます。</p> <p>後で使用するためにホワイトボードを保持しておく必要がある場合には、それを保存しておくこともできます。[スペースの作成(Create Space)] をタップすると、Webex Teams クライアントに新しいスペースが表示されます。これはアドホック会議に非常に便利な機能となります。</p> <p>また、Webex Board がスリープ状態になるか、ホーム ボタンを長押しすると、ローカルのホワイトボードが消去されます。チームと共有したいので、今は消去しません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホーム画面から、[ホワイトボード(Whiteboard)] アイコンをタップします。 画面下部に示されている色を使用して描画を開始します。さまざまな色とともに、すべてクリアする機能を持つ消しゴムも用意されています。Webex Board ペンや指で描画します。また、2 本の線を同時に引くこともできます。 最初のホワイトボードでの描画を終えたら、その描画はそのままにして、画面左下にある [新しいホワイトボード(New whiteboard)] をタップします。 この新しいホワイトボードで別の図を描画します。 描画を終えたら、[すべてのホワイトボード(All whiteboards)] をタップします。これで、ローカルのすべてのホワイトボードが表示されます。 画面右下にある [選択(Select)] をタップして、すべてまたは一部のホワイトボードを削除できます。 各ホワイトボードの右下に円が表示されます。いずれかのホワイトボードをタップすると、この円の中にチェックマークが表示されます。いずれかのホワイトボードにチェックマークを付けて、画面左下の [削除(Delete)] オプションをタップすると、選択したホワイトボードが削除されます。今は削除しないでください。 作成したいいずれかのホワイトボードを開き、[作業を保存(Save your work)] をタップします。 Webex Board で相手となる少なくとも 1 人の人物がいることを確認し、[スペースの作成(Create Space)] をタップします。 Webex Teams クライアントで作成された新しいスペースを表示します。 ホーム ボタンの上に指を置いて、スリーププロセスを開始します。開始されたら、Webex Board 画面をタップして取り消します。ホワイトボードに戻り、すべてのホワイトボードを再度表示します。 ホーム画面に移動し、下部の [このスペースを閉じる(Close this Space)] をタップします。

手順	説明の要点	操作
6	<p>複数のローカル ホワイトボードのスペースへの保存</p> <p>会議中にホワイトボードを作成しているときに、会議室にいる全員との Webex Teams スペースを作成してホワイトボードを共有したいと思います。</p> <p>[作業を保存 (Save your work)] ボタンをタップして、これらのローカル ホワイトボードを Webex Teams スペースに保存することもできます。</p> <p>全員が会議室にあるこの Webex Board とペアリングされていることを確認できます。</p> <p>[スペース作成 (Create Space)] をタップすると、会議室にいる全員に、ホワイトボードで作成した新しいスペースが表示されます。</p> <p>これで、全員が自分のクライアントでリアルタイムで編集できるようになりました。私は引き続き Webex Board で編集できます。</p> <p>この Webex Board はすばらしい製品ですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 可能であれば、複数のクライアントを Webex Board と再度ペアリングします。 • 1、2 のホワイト ボードを作成します。 • [すべてのホワイトボード (All whiteboards)] に移動して、[選択 (Select)] をタップします。 • 各ホワイトボードをタップして、[作業を保存 (Save your work)] をタップできます。 • 複数のユーザがペアリングされたら、それらのユーザがリストに表示されます。 • [スペース作成 (Create Space)] をタップします。 • ペアリングされたクライアントのいずれかに移動して、すべてのホワイトボードで作成したスペースを確認します。 • いずれかのクライアントまたは Webex Board から引き続きホワイトボードを編集できます。 <p>次の手順の準備:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Webex Board のホーム画面に移動して、[このスペースを閉じる (Close this space)] をタップします。 • [ホワイトボード (Whiteboard)] をもう一度タップします。少なくとも 1 つのホワイトボードがあることを確認します。ない場合は、1 つ以上のホワイトボードを作成して次の手順に進みます。

手順	説明の要点	操作
7	<p>Webex Board でのホワイトボードの移動</p> <p>これらのすばらしいローカル ホワイトボードをチームと共有したいと思います。そのために、モバイル デバイスで Webex Teams を使用してスペースに接続したいと考えています。</p> <p>まず、チームと開始したこのスペースを開き、アクティビティメニューを使用してこのスペースを Webex Board で開きます。</p> <p>すべての新しいオプションが表示されるため、接続されていることがすぐにわかります。また、画面の左上にスペースの名前が表示され、画面上部の中央にあった Webex Board の名前が削除されました。</p> <p>ホワイトボードに戻ります。</p> <p>それだけで、Webex Teams スペースにすべてのローカル ホワイトボードを移動するように求められます。[すべてのホワイトボードの移動 (Move all whiteboards)] をタップします。実にシンプルでした。</p> <p>Webex Teams クライアントの別のユーザのトーク：チームとの共有のおかげで、これらの図はすばらしいものになっています。</p> <p>ここに表示されている内容について電話で話し合うこともできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> デモンストレーションの前に、新しいスペースをセットアップし、ドキュメント、プレゼンテーション、および写真など複数のファイル タイプを追加します。スペースを作成したら、スペースにいくつかのデモ ユーザを追加します。 少なくとも 2 台の他のクライアントで Webex Teams を開きます。1 台は Webex Board とペアリングし、もう 1 台はリモート ユーザとして使用します。これでデモを実行する準備が整いました。 Webex Board のすべてのホワイトボードに戻ります。1 つ以上のホワイトボードがすでに作成されていることを確認します。 いずれかの Webex Teams クライアントで、Webex Board とペアリングし、Webex Board ボットで作成したスペースを開きます。 アクティビティメニューを開き、メニューの下部にある [Webex Board で開く (Open on Webex Board)] を選択します。このオプションは、Webex Board とペアリングされている場合に使用できます。 <p>接続されると、画面のアイコンが増えることに注目してください。また、スペース名が画面の左上に表示され、中央にあった Webex Board 名が表示されなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ホワイトボード (Whiteboard)] をタップします。 [すべてのホワイトボードの移動 (Move all whiteboards)] をタップします。Webex Board のローカルで作成したすべてのホワイトボードが表示されます。

手順	説明の要点	操作
8	<p>Webex Board での通話と会議中におけるホワイトボードの使用</p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>このスペースに接続されているため、会議を簡単に開始できます。必要な操作は、[通話(Call)] ボタンをタップし、[ビデオ通話(Video Call)] ボタンをタップして、通話を開始することだけです。</p> <p>それだけで会議が開始されました。</p> <p>リモート ユーザのトーク:</p> <p>Webex Teams クライアントで、会議が進行中であることがわかります。必要な操作は、[参加(Join)] ボタンをタップすることだけです。</p> <p>電話番号をダイヤルしたり会議番号を入力したりする必要がなかったのが、素晴らしいですね。会議にすぐに参加できました。Webex を使用すると簡単に助かります。</p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>全員が接続したので、このホワイトボードを開いて全員とリアルタイムで共有できます。</p> <p>全員が必要に応じて変更を加えることもできます。</p> <p>リモート ユーザのトーク:</p> <p>これが素晴らしいのは、Webex Board でホワイトボードをリアルタイムで見ることができるということです。編集ボタンをクリックして自分で変更を加えることもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ホーム画面で [通話(Call)] をタップします。キーボードで番号をダイヤルせずに、そのまま緑色の通話ボタンを押して発信します。 • [ビデオ通話(Video Call)] ボタンをタップしてスペースにダイヤル インし、会議を開始します。 <p>このスペースに接続されている他の Webex Teams クライアントで、会議への参加通知を受け取ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つ以上のクライアントで、[参加(Join)] を選択して会議に参加します。 • すべてのクライアントが参加したら、いずれかのホワイトボードを開き、[リアルタイム共有(Share live)] をタップします。 • いずれかのリモート Webex Teams クライアントで、編集ボタン [] をタップまたはクリックして変更を加えます。 • Webex Board で [共有の停止(Stop sharing)] をタップします。

手順	説明の要点	操作
9	<p>Webex Board での通話と会議中におけるファイルの使用</p> <p>Webex Board ユーザのトーク:</p> <p>チームで取り組んでいるこの PowerPoint を表示することもできます。[ファイル (Files)] に移動してそのファイルを開きます。</p> <p>各スライドについてチーム メンバーと電話で話し合えるようになりました。すばらしいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホーム画面で [ファイル (Files)] をタップします。 スペースで異なる多数のファイル タイプをテストします。PowerPoint などのいずれかのファイルを開きます。 PowerPoint、Word doc、または PDF を開いた場合は、画面の右側にあるスライド ビューアを使用してスライドやページを進めることができるのがわかります。スライドやページで指を上下にスライドさせると、スライドやページを変更できます。画面をタップして画面右下にある  アイコンをタップすると、スライド ビューを非表示にしたり再表示したりすることができます。 また、2本の指をドラッグして広げると、ズームできます。ズームは写真などの他のアイテムで使用できます。さまざまなタイプのファイルを開き終わったら、デモンストレーションを続行します。

シナリオ 8: Cisco Webex 通話機能

このシナリオでは、Taylor と Kellie の電話機で、Cisco Webex で利用可能な通話機能(自動応答、ハント グループ、コール パーク、ページング グループ、割り込みとプライバシー、およびコール ピックアップ)をデモンストレーションします。以下の手順では、このセッションでスクリプトと一括プロビジョニング用 CSV を使用してすでに設定してあるこれらの機能を使用します。dCloud Realty では、電話に対応するためのヘルプ デスクをオンサイトに配置しています。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>通話機能の設定の確認と更新</p> <p>セットアップ中にスクリプトで作成した通話機能の設定を任意で変更できます。この現在の設定では、Taylor と Kellie がすべての通話機能に属しています。</p> <p>これらのオプションの変更はデモンストレーション前に行う必要があります。</p> <p>これらの機能の設定方法を確認するには、Webex イネーブルメント ラボを参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラウド コラボレーション管理ポータル (https://admin.webex.com)を開き、Charles としてログインします。 [サービス (Services)] > [通話 (Call)] > [機能 (Features)] に移動します。 デモンストレーションで使用するすべてのパイロット番号を確認できます。これらの番号はデモンストレーションの手順にも示されます。 機能に変更を加えるには、[編集 (Edit)] ボタン [] をクリックします。
2	<p>自動応答</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty に電話して、購入しようとしている家の詳細情報を入手できるかどうかを確認する必要があります。</p> <p>電話番号は知っているので、ダイヤルしてサポートの 3 を押します。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>お電話ありがとうございます、dCloud Realty でございます。Kellie がご用件を承ります。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Ricardo と申します。Evergreen Valley で見た邸宅の情報がほしいのですが。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>かしこまりました。当社のエージェント、Taylor が対応させていただきます。ただ今おつなぎいたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> デモに PSTN アクセスはないため、いずれかの Webex Teams クライアントにデモ ユーザの 1 人としてログインする必要があります。このようにして、自動応答 (5333) に割り当てられた市内番号をダイヤルできます。また、いずれかのデスク フォンまたは 3 台目のデスク フォン (利用可能な場合) を使用できます。 「お客様」としてログインしたら、5333 をダイヤルします。 3 を押してサポートを呼び出します。これにより、スクリプトで設定されたハント グループのデモンストレーションが行われます。 Kellie の電話機で応答します。

手順	説明の要点	操作
3	<p>コール パークとページング</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Taylor は Evergreen Valley 地域に詳しいため、この通話への対応に最適なエージェントです。この通話をパーク保留してから、ピックアップするように Taylor にページングします。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>お客様が回線 **** でパーク保留中であるという Kellie のページングを聞きました。その番号をダイヤルして、お客様との通話を続行できるようにします。</p> <p>お待たせいたしました、お客様。Taylor がご用件を承ります。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Taylor さん、123 Evergreen Lane にある邸宅の詳細情報がほしいのですが。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>かしこまりました(情報を提供して通話を続行し、終わったら通話を終了します)。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通話中に、画面下部にある黒色のメニュー ボタンのいずれかを押し、[通話リスト(Call List)] のソフトキーを押します。 [コール パーク(Call Park)] のソフトキーを押して、通話に割り当てられている電話番号をメモします。 ページング グループ番号(5555)をダイヤルし、番号 ****(パーク保留されたときの番号)でパーク保留中の通話に応答するように Taylor にページングします。 Taylor の電話機で、パーク保留中の通話の DN をダイヤルします。 会話を続けて、終わったら通話を終了します。

手順	説明の要点	操作
4	<p>割り込みとプライバシー</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>お問い合わせいただいた邸宅を内見できる時間について電話でお客様にお伝えし、その他のご質問があるかどうかを確認します。</p> <p>お世話になっております、dCloud Realty の Kellie です。お問い合わせいただいた邸宅を内見できる時間についてお電話いたしました。今週土曜日の 8 時、11 時、3 時にご案内できますが、ご都合はいかがでしょうか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>Kellie さん、11 時が一番都合が良いです。それから、邸宅周辺について質問があります。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>かしこまりました。Taylor がその地域に詳しく、ちょうどこちらに参りましたので、この通話に加わってお客様のご質問にお答えできるかどうか確認してみます。Taylor、お客様とのこの通話に加わって、ご質問に対応してもらえますか。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>もちろん。共有回線を使用しているようなので、通話に割り込みますね。Kellie、通話が表示されないの、プライバシーをオフにしてもらえますか。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>ごめんなさい。通話に参加できるようにプライバシーをオフにしますね。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>通話が表示されたので参加します。お客様、Taylor です。ご質問にお答えいたします。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>邸宅周辺について詳しく聞かせてください(会話を続けて、終わったら通話を終了します)。</p>	<p>モバイル クライアントに「お客様」としてログイン中に、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Kellie の電話機の [プライバシー(Privacy)] ボタンが緑色になっていることを確認します。 • Kellie の電話機で共有回線(5150)を選択し、モバイル クライアントのユーザの DN をダイヤルします。 • Taylor を通話に招待したら、Kellie の電話機のプライバシーを解除する前に、Taylor の電話機で共有回線をクリックします。 • 共有回線を押した後、画面にアクティブな通話が表示されないことを確認します。 • Kellie の電話機の [プライバシー(Privacy)] ボタンを押して、ライトを消します。 • Taylor の電話機に通話が表示されたことを確認します。これで通話に参加できます。 • 発信者情報の横にある赤いボタンを押して通話に参加します。 • 会話を続けて、終わったら通話を終了します。

手順	説明の要点	操作
5	<p>コールピックアップ</p> <p>クライアントから Taylor と Kellie に直接電話がかかってくる場合があります。2 人は同じオフィスで働いているため、コールピックアップ機能が設定されています。これにより、いずれかの電話機に直接着信があったときに、そのユーザが席を外していた場合は、もう 1 人のユーザが自分の席を離れることなく代わりに電話に対応できます。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Taylor の回線に電話がかかっているようですが、Taylor は少しの間席を外しています。Taylor は、クライアントから重要な電話がかかってくるのを待っているため、直通回線に着信があったら代わりに対応してほしいと言っていました。</p> <p>着信への対応:</p> <p>お電話ありがとうございます、dCloud Realty でございます。Kellie がご用件を承ります。</p> <p>クライアントのトーク:</p> <p>もしもし Kellie、John Smith です。今後のアポイントについて Taylor と話すために電話しました。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>はい、Taylor は社内におりますが少し席を外しているため、私が伝言を賜るよう言付かっています。少々お待ちください、Taylor が戻ってくるようです。Taylor に代わります。</p> <p>Taylor、John Smith さんからお電話です。通話を**** でパーク保留しています。</p> <p>Taylor のトーク:</p> <p>ありがとう、Kellie。今すぐピックアップします。</p> <p>必要に応じて、Taylor と John の会話を続けます。</p> <p>Kellie のトーク:</p> <p>Cisco Webex に移行したため、ワークフローがとてもシンプルで使いやすいものになりました。Webex は本当に気に入っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> モバイル クライアントを使用して、Taylor の直通回線(5026)にクライアントとして発信します。 Taylor の電話機では応答せずに、代わりに Kellie の電話機で [ピックアップ (Pickup)] ソフトキーを使用します。 通話中に、画面下部にある黒色のメニュー ボタンのいずれかを押し、[通話リスト (Call List)] のソフトキーを押します。 [コール パーク (Call Park)] のソフトキーを押して、通話に割り当てられている電話番号をメモします。 Taylor の電話機で、パーク保留中の通話の DN をダイヤルします。 会話を続けて、終わったら通話を終了します。

シナリオ 9: Cisco Care

このシナリオでは、Cisco Care をデモンストレーションします。以下の手順では、このセッションでスクリプトと一括プロビジョニング用 CSV を使用してすでに設定してあるユーザを使用して、これらの機能を設定します。dCloud Realty では、チャットと電話に対応するためのヘルプ デスクをオンサイトに配置しています。

Cisco Care は、外部または内部のお客様をサポートするヘルプ デスクや小規模チーム向けのデジタル カスタマー ケア ソリューションです。コンテキストに応じた継続的かつ機能豊富なカスタマー ジャーニーを提供するカスタマー ケア チームをサポートすることで、接続されたデジタル エクスペリエンスを実現します。

15 分の設定で、Cisco Care を Web サイトに組み込んで、チャット サービスやコールバック サービスを提供することができます。Cisco Care には、カスタマー ケア ユーザのワークスペースとカスタマー フィードバックを示す統合レポートが含まれているため、ヘルプ デスクの生産性と効率が向上します。




Cisco Care は、統合管理とエンタープライズ クラスのセキュリティを備えた Cisco Webex コラボレーション プラットフォームの一部としてシスコが提供するものです。


主な特長は次のとおりです。

- Cisco Webex への非常に簡単なアドオン(クラウド コラボレーション管理インターフェイスで数回クリックするだけで済みます)
- Cisco Webex メッセージにより有効になった Web チャット
- Cisco Webex 通話により有効になったコールバック
- お客様の Web ページに組み込むカスタマイズ可能なチャットおよびコールバック
- 受信した連絡先のリアルタイム キュー情報
- お客様の ID、コンテキスト、およびインタラクション履歴への組み込みアクセス(カスタマー エクスペリエンスを向上させるための知識をエージェントに提供)
- Cisco Webex クラウド プラットフォームによって実現するセキュリティ侵害のないエンドツーエンドの暗号化
- クラウド コラボレーション管理で表示できるエージェント、チーム、および顧客満足度の統合レポート(カラー コーディングで応答所要時間が長すぎたケースを特定)

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>仮想アシスタントを使用する Cisco Care チャットのデモンストレーション</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty の Web サイトを見ていて、この物件に関する詳細な情報が欲しいと思いました。</p> <p>ブラウズ後にこのポップアップ バブルが表示され、チャット機能があることに気づきました。この機能を使用して、今すぐチャットできるかどうかを確認します。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>お客様の入力: この物件を見たいと思います。</p> <p>VA の応答: 物件の住所はどこですか?</p> <p>お客様: 123 Sequiota Park と表示されています。</p> <p>VA の応答: 物件をご覧ください。最もご都合の良い時間はいつですか?</p> <p>お客様の入力: 今週のいつでもだいじょうぶです。</p> <p>VA: わかりました。必要としている情報はそれですべてです。ここからご案内する担当者とお繋ぎいたします。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>「お客様名」が物件の見学を希望しておられます。[受け入れ (Accept)] をクリックして対応します。</p> <p>Rebekah の入力: お待たせいたしました。お問い合わせありがとうございます。123 Sequiota Park の物件は、今週いつでも見学していただくことができます。水曜日の午後 3 時ですとご都合はいかがですか?</p> <p>お客様の入力: それでお願いします。</p> <p>Rebekah の入力: わかりました。それで手配いたします。さらにお尋ねになりたいことはありますか?</p> <p>お客様と Rebekah は、すべての手はずが整うまでチャットを続けます。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>これらの詳細をメモに記録して、「showing (内覧)」というタグを付けて、後で簡単に見つけられるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のローカル ラップトップの、Webex 通話と互換性のあるブラウザ (最新バージョンの Chrome や Firefox など) を使用して、エージェント ポータル (https://care.ciscospark.com/) [英語] を開き、Rebekah (ユーザ名: rbarretta@ (collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) としてログインします。 別のブラウザまたはタブで、dCloud Realty の Web サイト https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html を開きます。 プロアクティブ チャット バブルが表示されるまで 30 秒待ちます。表示されたら、[今すぐチャット (Chat Now)] をクリックしてチャットを開始します。 フォームに必要事項を入力し、[チャットの開始 (Start Chat)] をクリックします。 まず、仮想アシスタントに接続します。VA とカジュアルなチャットをするか、またはすぐにデモに取りかかることができます。デモでは「内覧希望」または「このアパートの情報を希望」などと入力できます。そうするとアシスタントは、エージェントの Rebekah にエスカレーションする前にいくつか追加の質問を尋ねてきます。 エージェント ポータルで [受け入れ (Accept)] をクリックし、チャットを開始します。 お客様と Rebekah のチャットを続けます。チャット中にメモやタグも追加します。 チャットが終わったら、どちらの側からでもチャットを終了できます。 チャット セッションが終了したら、お客様はチャットトランスクリプトをローカルに保存できます。また、お客様はカスタマー エクスペリエンスに関するフィードバックを求められます。そのトランスクリプトを保存すると .pdf ファイルが作成されます。

手順	説明の要点	操作
2	<p>Cisco Care のチャットをビデオ通話にエスカレーションするデモンストレーション</p> <p>デモ中の、お客様とチャットしているときにはいつでも、ソフトウェアをインストールする必要なくチャットからビデオに移行することがどれほど簡単であるかを示すために、ビデオに遷移できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Chrome や Firefox などの、サポートされるブラウザを使用します。 Rebekah とのチャット受け入れ後、ビデオ通話にエスカレーションするにはいつでも [ビデオ通話 (Video Call)] ボタン  をクリックします。 お使いのブラウザで、マイクとカメラへのアクセスが許可されることを確認します。 通話を開始したら、お客様側で、通話を受け入れてマイク/カメラへのアクセスを許可します。 ビデオ越しに会話を続けます。
3	<p>Cisco Care では、Context Service を使用してカスタマー ジャーニーを表示できます。同じお客様情報でチャットに再接続し、Cisco Care でお客様がどのように認識され、前回のチャットから得たすべての情報がどのように保持されているかをデモンストレーションします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> エージェントが以前のお客様からのチャットを受け入れたら、[現在のアクティビティ (Current Activity)] の左側にある [<] アイコンをクリックします。  <ul style="list-style-type: none"> これで、お客様が Cisco Care エージェントと行ったすべてのアクティビティを表示できます。 チャットまたはコールバックによるアクティビティごとに [メモの説明 (Note Description)] を必ず追加してください。メモのタイトルは [Context Service アクティビティ (Context Service Activities)] の下に一覧表示されます。
4	<p>Cisco Care エージェントのパフォーマンス</p> <p>Cisco Care エージェントの Rebekah がログインすると、Rebekah の写真の右側にグラフ アイコン が表示されます。</p>  <p>このレポート機能を使用してカスタマー ケアのメトリックを確認できます。これにより、自分の優れている点が見えるほか、改善点を目標とすることができます。</p> <p>また、進行中のインタラクションやキューに入っている項目も表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Rebekah がグラフ アイコンをクリックすると、Rebekah が処理したタスク (チャットおよびコールバック) の合計、平均処理時間、および平均顧客満足度を示すレポートを実行できます。 また、Rebekah に進行中のインタラクションがあるかどうかや、キューに入っている項目があるかどうかを確認できます。

手順	説明の要点	操作
5	<p>Cisco Care のコールバック</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>dCloud Realty の Web サイトを見ていて、この家の詳細情報がどうしてもほしいと思いました。コールバック機能が用意されているようです。この機能を使用して、エージェントから折り返し電話をもらえるかどうかを確認します。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>「お客様名」が家の情報を求めています。[受け入れ (Accept)] をクリックして折り返し電話します。</p> <p>お問い合わせいただきありがとうございます。Rebekah と申します。家の情報をお求めのようですが、ご覧になっている特定の家はございますか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>はい。304 Sycamore Drive にある物件に関心があります。まだ購入できますか。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>はい、大丈夫です。必見ですよ。内見を手配いたしましょうか。</p> <p>お客様のトーク:</p> <p>それはありがたい。</p> <p>お客様と Rebekah は、すべての手はずが整うまで通話を続けます。</p> <p>Rebekah のトーク:</p> <p>これらの詳細をメモに記録して、「showing (内覧)」というタグを付けて、後で簡単に見つけられるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最新バージョンの Chrome や Firefox などの Webex 通話対応ブラウザを使用してエージェント ポータル (https://care.ciscospark.com/) [英語] を開き、Rebekah (ユーザ名: rbarretta@ (collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード: dCloud123!) としてログインします。 別のブラウザまたはタブで、dCloud Realty の Web サイト (https://adfs.(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com/dCloud/webex/index.html) を開きます。 コールバック バブル  を使用してコールバックを開始します。 フォームにお客様名と内線番号を入力します。いずれかの登録電話または Webex Teams クライアントにログインしているデモ ユーザの 4 桁の内線番号を使用します。 [コールバックの要求 (Request Callback)] をクリックします。 <p>注: デモに Webex クラウド PSTN アクセスはないため、モバイルデバイスの Cisco Webex Teams アプリにログインしているデモ ユーザ、または登録済みの Webex 電話機を持つデモ ユーザの 1 人の 4 桁の内線番号にダイヤルする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> エージェント ポータルで [受け入れ (Accept)] をクリックします。 お客様と Rebekah の通話を続けます。通話中にメモやタグも追加します。 通話が終わったら、どちらの側からでも通話を終了できます。 さらに、Context Service のデモンストレーションとして、同じお客様情報でコールバックを使用して再接続し、Cisco Care でお客様がどのように認識され、前回の通話から得たすべての情報がどのように保持されているかをデモンストレーションします。

手順	説明の要点	操作
6	<p>自動ルーティングのデモンストレーション</p> <p>Cisco Care を使用した場合、ピックアップと自動の 2 タイプのコール ルーティングがあります。</p> <p>ピックアップ: エージェントはチャットとコールバック要求のキューから項目を選択できます。</p> <p>自動: Cisco Care は、最長対応可能なエージェントに、受信チャットとコールバックを自動的にルーティングします。</p> <p>デモのデフォルトは、ピックアップ ルーティングです。自動ルーティングをデモンストレーションする場合は、制御ハブ内で設定を変更する必要があります。</p> <p>変更後には、エージェント ポータルからログアウトし、再度ログインする必要があります。</p> <p>最長対応可能なエージェントをデモンストレーションするためには、2 人のエージェントでログインする必要があります。Rebekah とともに、Monica もエージェントとして設定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動ルーティングを設定するには、Webex Control Hub に管理者 Charles として、cholland@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。 [サービス (Services)] タブをクリックし、[Care] カード上の [設定 (Settings)] をクリックします。 [ルーティング (Routing)] セクション内で、[自動ルーティング (Automated Routing)] を選択し、[保存 (Save)]、次に [はい (Yes)] をクリックします。 エージェント ポータルからサインアウトします。 Rebekah rbarretta@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com として、パスワード dCloud123! で再びサインインします。 通話の受け入れを開始するために、Rebekah の名前の下で [待受停止 (Not Ready)] をクリックし、[待受開始 (Ready)] を選択する必要があります。 最長対応可能なルーティングをデモンストレーションするには、別のブラウザまたは専用ブラウザで、Monica として、mcheng@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。 これ以上と同じデモ スクリプトを使用するか、新しいものを作成できます。 両方のエージェントがログインしている場合、Rebekah のみが通知を受け取っていることに気づくでしょう。これは彼女のほうがログイン時間が長いからです。

シナリオ 10: Cisco Webex Control Hub での Pro Pack

このシナリオでは、Cisco Webex で得られる Pro Pack をデモンストレーションします。Standard と Pro Pack の二つのタイプのサービスがあります。Standard は Cisco Webex に無償で付属しています。Pro Pack は追加サービスとなります。

eDiscovery 検索と抽出ツールを使用すると、Cisco Webex Teams Space 内で情報を検索および取得するために無制限にデータにアクセスできます。電子メール アドレス、スペース ID、キーワード、および特定の期間を使用して検索を絞り込みます。

コンプライアンス担当者として、Cisco Webex Control Hub を使用して Cisco Webex Teams アプリでのすべてのカンバセーションを検索できます。会社内の特定の人物を探して、その人たちが共有してきたコンテンツを検索し、調査結果のレポートを生成できます。情報を求めて特定のスペースを検索することもできます。

<https://help.webex.com/docs/DOC-21569> [英語] にアクセスして、eDiscovery に関する詳細情報を表示します。これにはコンプライアンス担当者の役割や提供されるレポートに関する情報が含まれています。

デモンストレーションの手順

手順	説明の要点	操作
1	<p>eDiscovery 検索と抽出ツールのデモンストレーション</p> <p>コンプライアンス オフィサーの Eric のトーク:</p> <p>私は dCloud Realty のコンプライアンス オフィサーです。法務部門により、dCloud Realty の従業員である Stefan Mauk が社外の人物と交わした、Blackbriar と呼ばれる社内プログラムに関する Webex Teams の会話を提出する必要がありますと通知を受けました。</p> <p>Cisco Webex では、Cisco Webex Control Hub を使用してこのデータを検索できます。</p> <p>まず、自分のアカウントで Cisco Webex Control Hub にログインします。</p> <p>法務部門から、検索対象としてキーワード Blackbriar が提示されたので、それを Stefan の電子メール アドレスに突き合わせて検索します。</p> <p>レポートが見つかった後の Eric のトーク:</p> <p>Blackbriar に言及している 1 つのスペースを検出したようです。手順を進めてレポートを生成してダウンロードします。</p> <p>要求に従ってこのレポートを法務部門に引き渡します。それにより法務部門は調査を続行できます。</p> <p>この Cisco Webex eDiscovery 検索および抽出ツールで仕事がとても簡単でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Eric Steele はすでにコンプライアンス担当者の役割が割り当てられています。https://admin.webex.com に、esteele@ (collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。 最初のボックスに、Stefan の電子メール アドレスを入力します。(smauk@ (collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com)。 [メッセージを含む (Where Messages contains)] ボックスに、キーワード Blackbriar を入力します。検索は終了するまでに少し時間がかかります。 デモのセットアップにより、このキーワードで検出される 1 つのスペースがあるはずです。 [レポート名 (Report Name)] と [説明 (Description)] に関連情報を入力します。 名前と説明を入力した後、[レポートの生成 (Generate Report)] をクリックします。 レポートを生成したら、[レポートのダウンロード (Download Report)] をクリックします。 <p>法的な理由から、レポートを表示することは許可されない場合があります。ただし、デモの目的ではそれを表示して、以下の手順を実行してナビゲートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> これにより JSON 形式のレポートを含む zip ファイルがダウンロードされます。レポートを抽出し、抽出されたフォルダを参照します。 このファイルは任意のテキスト エディタで表示できます。レポートは JSON 形式のため、JSON ビューア/フォーマッタを使用してファイルを読みやすくすることをお勧めします。 ドキュメント内のワード、Blackbriar を検索します。「メッセージ」を検索して、このスペースで Stefan が送信した各メッセージを表示することもできます。 [カンバセーション ID (conversationID)] フィールドには、カンバセーションが行われたスペース ID が示されます。 組織の外部のユーザと行ったカンバセーションであるので、これらのユーザ フィールドは ヌル になります。

手順	説明の要点	操作
2	<p>PIN 強制のデモンストレーション</p> <p>組織管理者の Charles のトーク:</p> <p>私たちの会社では、従業員のモバイル端末で Cisco Webex Teams にログインする場合 PIN 番号の設定を強制しています。この機能をオンにするには Control Hub を利用します。</p> <p>マウスワンクリックでこの機能を Cisco Webex Teams をインストールした全てのデバイスに有効にすることができます。</p> <p>利用者として:</p> <p>Cisco Webex Teams クライアントにログインした後にポップアップが表示されます。:</p> <p>モバイスデバイス上で PIN 設定が強制されたようです。これは守られていないモバイルデバイスを使って簡単に情報を得られないようにするため理解できるものです。</p> <p>私は PIN を設定します。</p> <p>PIN 設定後:</p> <p>PIN を設定後に、Cisco Webex Teams アプリを利用できるようになりました。</p> <p>会社固有の情報を守る会社に勤めていることを誇りに思います！</p>	<p>この機能をデモするには PIN 機能をオフにしたモバイルデバイスが必要です。</p> <p>PIN 番号強制機能を設定するには、Webex Control Hub に管理者 Charles として、cholland@collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [設定 (Settings)] タブをクリックします。 • [ユーザーは、ロック画面により保護されているモバイル デバイス上でのみ Cisco Webex Teams アプリを起動することができます。(Users can only Launch the Cisco Webex Teams app on mobile devices protected with lock screens)] をクリックします。 • PIN 番号機能をモバイルデバイスでオフにできる場合んは、この機能をテストし、Cisco Webex Teams クライアントでログインします。 • モバイルアプリ上ではパスコードが必須というポップアップ表示でます。ログアウトをするオプションしかありません。

手順	説明の要点	操作
3	<p>ファイル共有管理のデモンストレーション</p> <p>組織管理者の Charles のトーク:</p> <p>セキュリティ部門から Cisco Webex Teams のアプリでファイルのダウンロードとアップロードを禁止できるか聞かれました。彼らは会社の社外秘情報が外に漏れないかを心配しています。私はハイと答え、Control Hub 上でその設定をすることになりました。</p> <p>様々なアプリがありますが、セキュリティ部門は Bot を含めた全てのオプションでファイル共有を無効にするように求めてきました。</p> <p>そこでわたしは Cisco Webex Teams アプリでファイルのアップロードダウンロードを実施しました。</p> <p>ファイルを送信しようとするエラーが表示され、またダウンロードもできないことを確認しました。</p> <p>Cisco Webex が会社で必要としている設定を持っていることをありがたいと思います！</p>	<p>準備のため、事前にテキストファイルなどを Space にアップロードしておきます。</p> <p>ファイル共有の無効化を設定するには、Webex Control Hub に管理者 Charles として、cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [設定 (Settings)] タブをクリックします。 • [ファイル共有コントロール (File Sharing Control)] にダウンロード、プレビュー、アップロード制限の設定があります。 • ユーザに次にあるファイルをダウンロードまたはプレビューすることを許可しない から すべてのアプリと Bot を選択します。アップロードの制限に自動的にチェックボックスが入ります。 • アプリにポリシーを割り当てるとホワイトボード機能も同時に制限されます。 • チェックボックスを入れるとホワイトボード機能の制限についての確認のチェックボックスが現れます。確認 (Confirm) をクリックします。 • オプションをラボユーザーに割り当てた後、ポリシーを割り当てたアプリに戻ります。 • アップロード、ダウンロードができないことを確認します。 <p>Control Hub での設定がすぐにアプリに反映されることがわかります。</p>

手順	説明の要点	操作
4	<p>アクセスのリセットのデモンストレーション</p> <p>組織管理者の Charles のトーク:</p> <p>利用者からモバイルデバイスを旅行中に紛失し見つからないとの連絡をもらいました。このモバイルデバイスにインストールされた Cisco Webex Teams アプリから会社の情報を盗まれる可能性があるとのことです。</p> <p>私は利用者に Cisco Webex Teams にはログインを全てリセットする機能があるから問題がないことを伝えました。</p> <p>Cisco Webex Control Hub でこれからその作業 w そいませが簡単です。ちょっとしたクリックでアクセスはリセットされ全てのクライアントから利用者をリセットすることができました。すごいです！</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Webex Control Hub に管理者 Charles として、cholland@ (collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com、パスワード dCloud123! でログインします。 • [ユーザー (Users)] タブをクリックします。 • ユーザーをリストから選択します。 • [ロールとセキュリティ (Roles and Security)] をクリックします。 • ウィンドウ最下部にある アクセスのリセット (Reset Access) をクリックします。 <p>これで利用者のトークンを消去できました。なお、このプロセスには最大6時間かかります。すぐにユーザーのアクセスを消去したい場合はユーザーを削除します。</p>

付録 A: Cisco Webex パスワードのリセット手順

SSO が使用されていない場合は、場合によっては、Cisco Webex ユーザ アカウントのパスワードをリセットする必要があります。次に、Charles Holland のパスワードをリセットする手順を示します。

1. クラウド コラボレーション管理ポータル(<https://admin.webex.com>)に移動し、電子メール アドレス **cholland@collabedge- または cb) XXX.dc-YY.com** を入力します。
2. [サインイン (Sign-In)] をクリックします。
3. 次のページが、ドメインの XXX と YY の部分を除き、下の図のようになっていることを確認します。同様であれば、次の手順に進みます。

図 8. 正しいサインイン画面

図 9. 正しくないサインイン画面

Cisco Webex

Hello cholland@cc108.dc-02.com,

.

Sign In

Remember email address

Keep me signed in

[Forgot password?](#)

4. 画面が上記の最初のサインイン画像と似ている(チェックボックスがない)場合、下部の [パスワードをお忘れですか?(Forgot password?)] リンクをクリックします。
5. リセット方法を示した電子メールが Anita に送信されています。新しいブラウザ タブを開き、<https://mail1.dcloud.cisco.com/owa> に移動します。このページにアクセスするには、AnyConnect VPN に接続している必要があります。ユーザ名: **dcloud\cholland**、パスワード: **C1sco12345** でログインします。まだ開いてない場合は、Outlook を開きます。
6. 受信トレイに、件名が [パスワードのリセット (Password Reset)] である電子メールがあります。そのメール内で、[パスワードのリセット (Reset password)] をクリックします。
7. ブラウザのウィンドウが表示されます。「**dCloud123!**」を [新しいパスワード (New Password)] ボックスと [新しいパスワードの確認 (Confirm new password)] ボックスに入力します。
8. [保存してサインイン (Save & Sign In)] をクリックします。
9. ブラウザを閉じ、デモを続けます。

付録 B: AD FS によるシングル サインオン(SSO)設定

すべてのユーザは Cisco Webex で提供される基本認証を使用していますが、SSO を使用してデモンストレーションを行うこともできます。SSO を有効にするには、いくつかの手順を実行します。

シングル サインオン(SSO)設定(オプション)


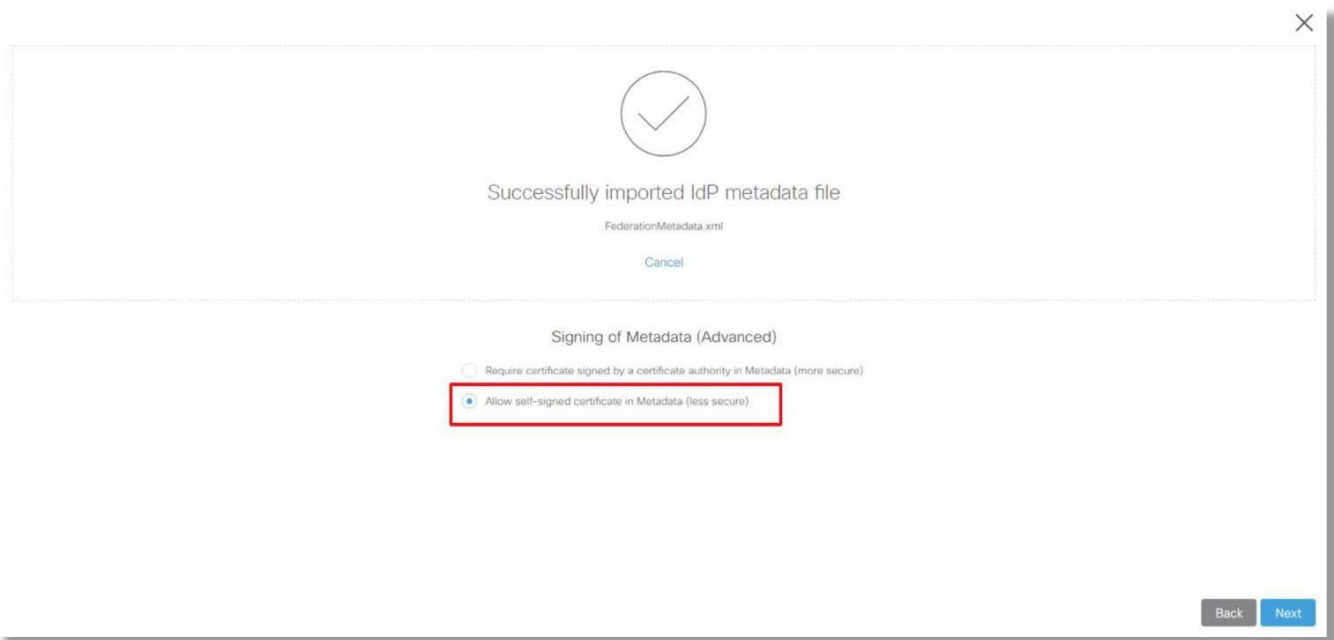
1. Workstation 1 (198.18.1.36) への接続中に、Chrome を開き、ホーム ページから [Cisco Webex リンク(Cisco Webex Links)] > [Webex Control Hub (Webex Control Hub)] の順に移動します。
2. **cholland@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com** として、パスワード **dCloud123!** でサインインします。
3. [サービス利用条件(Terms of Services)] の一番下までスクロールし、[同意する(Accept)] をクリックします。
4. [概要(Overview)] ページで、ページ下部の [ライセンス(Licenses)] カードまでスクロールします。
5. [シングル サインオン(Single Sign-On)] の横にある歯車 [] をクリックします。
6. [サードパーティの ID プロバイダーを統合(高度)(Integrate a 3rd-party identity provider(Advanced))] オプション ボタンをオンにして、[開始する(Get Started)] をクリックします。
7. [ディレクトリ メタデータのエクスポート(Export Directory Metadata)] ページで [次へ(Next)] をクリックします。この手順は事前に完了しています。
8. [ファイル ブラウザを使用してください(file browser)] リンクをクリックします。
9. [開く(Open)] ウィンドウで、デスクトップから **FederationMetadata.xml** ファイルを開き、[開く(Open)] をクリックします。
10. [IdP メタデータ ファイルを正常にインポートしました(Successfully imported IdP metadata file)] 画面が表示されます。

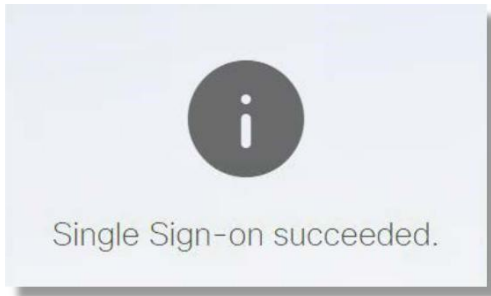
図 10. 正常にインポート



11. **重要:** 自己署名証明書を使用しているため、[メタデータで自己署名証明書を有効にする(低セキュリティ)(Allow self-signed certificate in Metadata (less secure))] オプション ボタンをオンにします。小型のディスプレイを使用している場合は、画面を下にスクロールすることが必要になる可能性があります。
12. [メタデータで自己署名証明書を有効にする(Allow self-signed certificate in Metadata)] オプション ボタンをクリックした**後**、[次へ(Next)] をクリックします。

13. [SSO 接続のテスト(Test SSO Connection)] をクリックします。
14. ブラウザで SSO をテストするための新しいタブが開きます。
15. [高度(ADVANCED)] をクリックし、[続行(Proceed)] リンクをクリックします。ユーザ名: **cholland**、パスワード: **C1sco12345** でサインインします。パスワードの「i」は 1 であり、感嘆符(!)ではないことに注意してください。
16. サインインに成功すると、[シングル サインオンに成功(Single Sign-on succeeded)] というメッセージが表示されます。

図 11. SSO 成功



17. ブラウザ タブを閉じます。
18. テストに成功したら、[SSO 設定のテスト(Test SSO Setup)] 画面で、[テストに成功しました(The test was successful)] オプション ボタンをクリックします。[シングル サインオンの有効化(Enable Single Sign On)] をオンにして、[保存(Save)] をクリックします。
19. SSO が組織で有効になりました。今後、ユーザ パスワードは **C1sco12345** になります。
20. デモンストレーションの前に、管理ポータルからサインアウトし、SSO クレデンシャルを使用して再度ログインします。

注: カスタマー組織で SSO が失敗した場合でも、パートナー管理者はパートナー ポータルにログインして、カスタマー組織にアクセスできません。デモでは、このアカウントにアクセスできません。お客様管理者でログインできないなどの何らかの理由があれば、SSO を無効にし、**C:\dcloud** にナビゲートして **disable_sso.ps1** ファイルを右クリックし、**[PowerShell で実行(Run with PowerShell)]** を選択する必要があります。このスクリプトを実行すると、SSO は無効になります。

AD CA ルート証明書のインストール(オプションだが、自分のデバイスで Webex Teams のデモンストレーションを行う場合は必須)

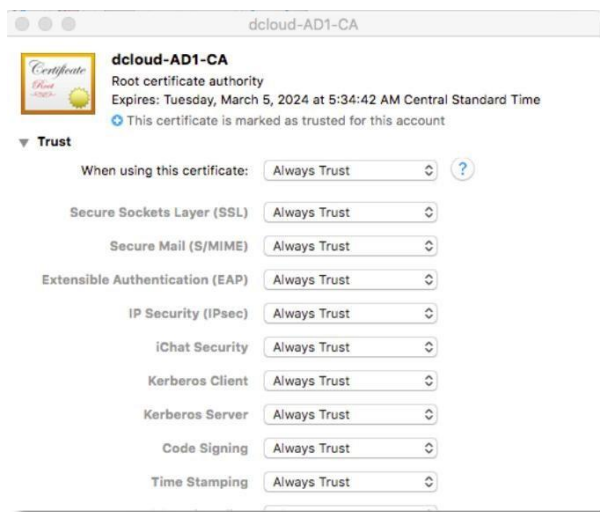
ここでは、AD サーバ用の CA 証明書をデバイスにインストールする方法を示します。Workstation 1 および 2 にはこの証明書がすでにインストールされているため、ワークステーションで Webex Teams を使用する場合はインストールする必要はありません。このラボでは自己署名証明書を使用しているため、モバイル端末でデモンストレーションを行うには、この CA 証明書をコンピュータだけでなくモバイル端末にもインストールする必要があります。インストールしない場合は、ユーザの電子メール アドレスに送信した後、Webex Teams アプリケーションに空白の画面が表示されます。これは 1 度だけ実行する必要があります。ルート証明書をデバイスに一度インストールすれば、以降のすべてのデモで SSO は常に動作します。再インストールが必要になるのは、デバイスからルート証明書を手動で削除した場合のみです。

1. ルート CA 証明書をダウンロードするには、ブラウザを開いて <http://cs.co/ad1cacert> に移動します。

ad1cacert ファイルがダウンロードされます。デバイスでこの証明書を開いてインストールします。基本的な手順を以下に示します。

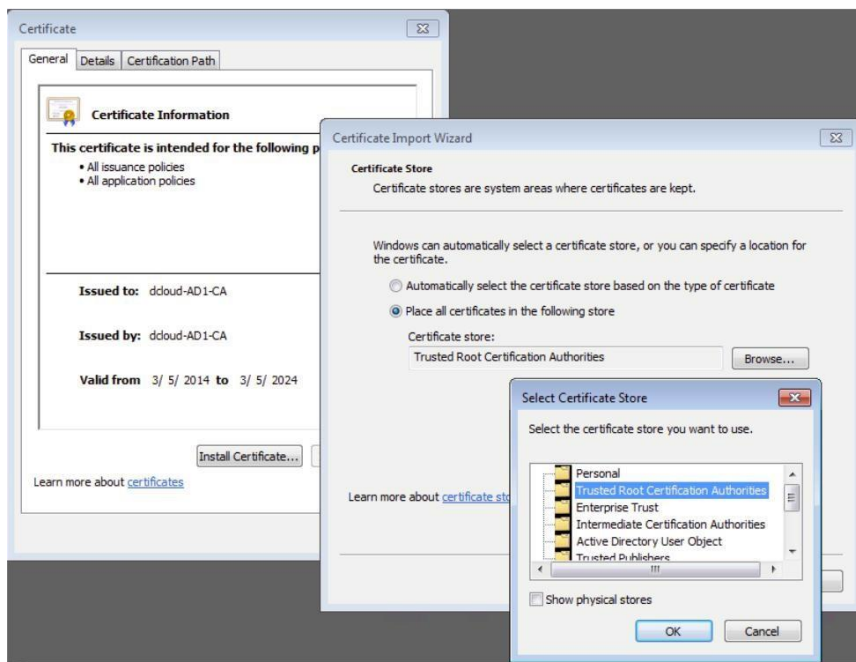
2. Mac の場合は、証明書を開き、[追加(Add)] で**ログイン** キーチェーンに追加します。
 - a. 証明書を追加したら、[キーチェーンアクセス(Keychain Access)] ウィンドウで(ウィンドウが開いていない場合は Keychain Access アプリケーションを開く)**ad1** を検索し、証明書を開いてプロパティを表示させます。
 - b. 証明書が開いたら [信頼(Trust)] を展開し、[この証明書を使用している場合(When using this certificate)] ドロップダウン リスト ボックスを [常に信頼(Always Trust)] に変更します。証明書とキーチェーン アクセスを閉じます。

図 12. AD1 ルート証明書を信頼する



- Windows の場合は、証明書を開き、[証明書のインストール (Install Certificate)] で [信頼されたルート証明機関 (Trusted Root Certification Authorities)] ストアにインストールします。

図 13. AD1 ルート証明書をインストール



- iOS の場合は、証明書を電子メールで自分に送信し、デバイス上で開き、画面に従ってインストールします。
- Android の場合は、拡張子 **.cer** を **.crt** に変更し、証明書を電子メールで自分に送信して、デバイス上で開き、画面に従ってインストールします。

ラボ ユーザを使用した SSO のテスト(オプション)

このセクションでは、Anita を使用して SSO をテストします。最初に、Anita が Cisco Webex から電子メールを受信しているかどうかを確認します。

1. 自分のコンピュータから別の Web ブラウザを開いて、別のユーザで Webex にログインしている場合はブラウザのキャッシュをクリアします。使用中のブラウザのプライベート/匿名モードを使用することもできます。
2. <https://teams.webex.com> [英語] に移動します。
3. 電子メール アドレス **aperez@(collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com** を入力し、[続行(Continue)] をクリックします。
4. Cisco dCloud SSO ページに移動します。aperez としてパスワード **C1sco12345** でサインインします。
5. 初期設定を行うと、Cisco Webex Teams にログインできます。
6. 組織内の任意のユーザとして、Web、モバイル、デスクトップなど任意の場所からログインしてみてください。パスワードはすべて **C1sco12345** を使用します。
7. 使用する予定の各デモ ユーザを使用して Webex にログインすることが重要です。これにより、各ユーザの Webex サービスがすべて有効になります。

付録 C: スクリプトで完了した設定

次の手順は Workstation 1 にあるスクリプトを使って実施されました。このセクションを参照し、必要に応じてトラブルシューティング中に設定を確認します。

WebEx サイトの設定

- Expressway-C サーバで、[アプリケーション (Applications)] > [ハイブリッド サービス (Hybrid Services)] > [カレンダー (Calendar Service)] > [Cisco WebEx の設定 (Cisco WebEx Configuration)] の順に移動します。
- [新規 (New)] をクリックします。
- 以下を設定します。

表 4. Cisco WebEx CMR の設定

設定	設定
完全修飾サイト名	cbXXXXY.webex.com
ユーザ名	空欄のまま
パスワード	空欄のまま
デフォルトのサイト (Default Site)	はい (Yes) (デフォルト)

- [追加 (Add)] をクリックします。

通話コネクタの設定

- [アプリケーション (Applications)] > [ハイブリッド サービス (Hybrid Services)] > [コール サービス (Call Service)] > [Unified CM サーバ (Unified CM Servers)] の順に移動します。
- [新規 (New)] をクリックします。
- 以下を設定します。

表 5. Unified CM サーバ

設定	設定
Unified CM アドレス (Unified CM Address)	cucm1.dcloud.cisco.com
ユーザ名 (Username)	webex
パスワード (Password)	dCloud123!

- [クレデンシャルの確認 (Verify Credentials)] をクリックします。
- ページが更新されたら、次のように設定します。

注: ドロップダウンメニューで [自動 (Automatic)] に変更すると残りのフィールドが表示されます。

表 6. コール サービス接続の設定

設定	設定
Cisco Spark リモート デバイスの設定タイプ (Cisco Spark Remote Device Configuration Type)	自動 (Automatic)
デバイス プール (Device Pool)	dCloud_DP
場所 (Location)	Hub_None
コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)	Call_Everyone
コーリング サーチ スペースの再ルーティング (Reroute Calling Search Space)	Call_Everyone

6. [追加(Add)] をクリックします。
7. [アプリケーション(Applications)] > [ハイブリッド サービス(Hybrid Services)] > [コール サービスの概要(Call Service Overview)] の順に移動します。
8. [アクティブ(Active)] ドロップダウン メニューを [有効(Enabled)] に変更し、[保存(Save)] をクリックします。
9. ページが更新されると、ステータスが **Running** になります。

付録 D: ディレクトリ コネクタ

ユーザのアイコンはすべて自動セットアップ スクリプトによってアップロードされているはずですが、一部が欠落している場合や、ディレクトリを同期してユーザを追加する場合は、Workstation 1 にインストールされているディレクトリ コネクタを使用できます。この場合は、完全同期を実行するための設定が必要になります。

ディレクトリ コネクタの設定 (オプション)


1.  > [すべてのプログラム (All Programs)] > [シスコ ディレクトリ コネクタ (Cisco Directory Connector)] > [シスコ ディレクトリ コネクタ (Cisco Directory Connector)] の順に移動して、[ディレクトリ コネクタ (Directory Connector)] を開きます。
2. [Spark にサインイン (Sign in to Spark)] 画面で「**cholland@collabedge- または cb)XXX.dc-YY.com**」と入力し、[次へ (Next)] をクリックします。
3. 「**dCloud123!**」をパスワードとして次のボックスに入力し、[サインイン (Sign In)] をクリックします。
4. [AD DS] オプション ボタンを選択し、[確認 (Confirm)] をクリックします。
5. 上部にある [設定 (Configuration)] タブをクリックします。

図 14. Active Directory

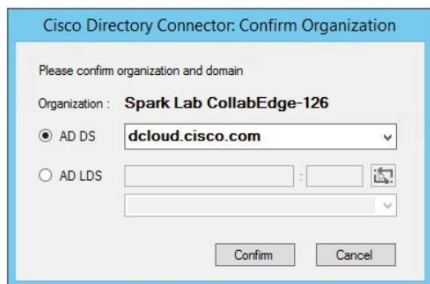
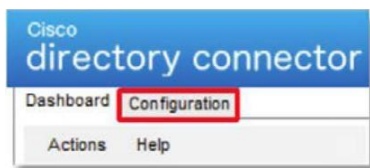
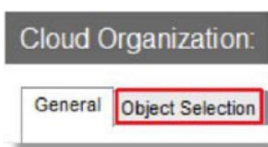


図 15. 設定



6. [オブジェクトの選択 (Object Selection)] タブをクリックすると、同期するユーザを指定できます。

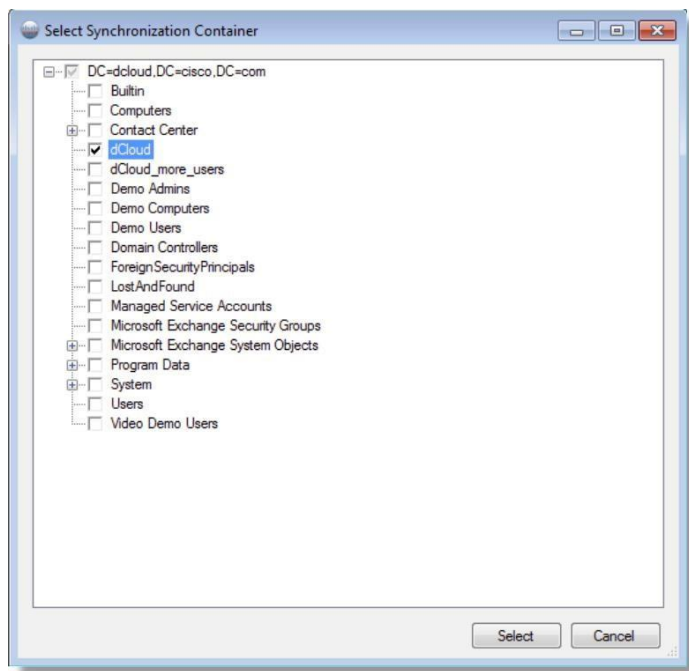
図 16. [オブジェクトの選択 (Object Selection)]



7. [グループ (Groups)] チェックボックスをオフにします。
8. [同期するオンプレミス ベースの DN (On Premises Base DN's to Synchronize)] セクションにある [選択 (Select)] ボタンをクリックします。
9. [DC=dcloud,DC=cisco,DC=com] チェックボックスをオフにして、すべてのチェックボックスの選択を解除します。

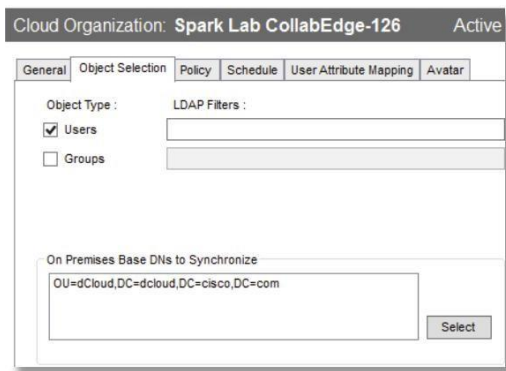
10. [dCloud] チェックボックスをオンにして、[選択(Select)] をクリックします。

図 17. OU の選択



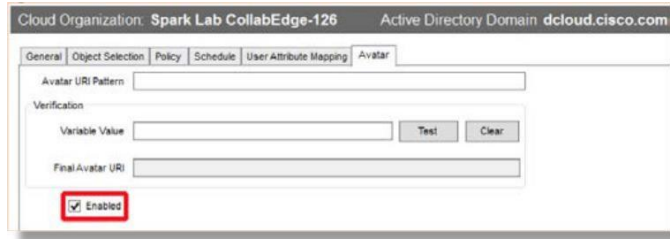
11. [オブジェクトの選択 (Object Selection)] ページが、次のスクリーン ショットのように表示されます。

図 18. [オブジェクトの選択 (Object Selection)]



12. [アバター (Avatar)] タブをクリックして、[有効 (Enabled)] チェックボックスをオンにします。

図 19. アバター



13. [アバターの URI パターン (Avatar URI Pattern)] ボックスに次の URI を入力します。デスクトップに、「Pattern」というテキストドキュメントが用意されています。このドキュメント内のパターンからコピーして貼り付けることができます。

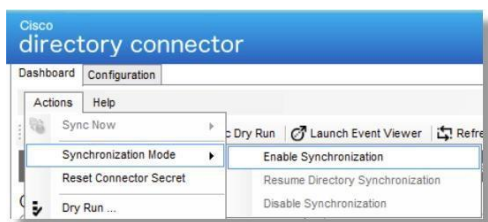
http://ad1.dcloud.cisco.com/dCloud/directory/{mail: .*?(?=@.*)}.jpg

14. 画面の最下部にある [適用 (Apply)] をクリックします。
15. ポップアップで、[設定変更の適用 (Apply Config Changes)] をクリックします。

次に同期を有効にします。

16. 上部にある [ダッシュボード (Dashboard)] タブをクリックします。
17. [アクション (Actions)] メニューをクリックし、[同期モード (Synchronization Mode)] > [同期の有効化 (Enable Synchronization)] の順に選択します。

図 20. 同期の有効化

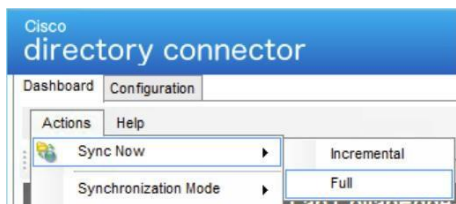


18. ポップアップで [いいえ (No)] をクリックします。
19. ポップアップで [はい (Yes)] をクリックして、同期を有効にします。

次に完全同期を行います。

20. [アクション (Actions)] メニューをクリックし、[すぐに同期 (Sync Now)] > [完全 (Full)] の順に選択します。

図 21. 完全同期



21. ポップアップで [はい (Yes)] をクリックします。
22. [現在の同期 (Current Synchronization)] セクションで、ユーザの作成とアバターのアップロードの進行状況を確認できます。同期が完了すると、[前回の同期 (Last Synchronization)] セクションに **Status** ● **No errors** のように表示されます。ページが更新されず、ステータスが反映されない場合は、上部にある [更新 (Refresh)] ボタンをクリックします。

注: 同期のエラー/警告が表示された場合は、完全同期をやり直してください。エラー/警告を [イベント (Event)] ビューで確認することもできます。それには、ディレクトリ コネクタの [イベントビューアの起動 (Launch Event Viewer)] ボタンをクリックします。次に [アプリケーションとサービスのログ (Applications and Services Logs)] > [シスコ ディレクトリ コネクタ (Cisco Directory Connector)] の順に移動して、すべてのイベントを表示させます。

23. ディレクトリ コネクタを閉じます。

©2018 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2018年6月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先